

第十五回 貴族院議事速記録第十七號

帝國議會

明治三十四年三月二十三日(土曜日)

午前十時十五分開議

議事日程 第十八號 明治三十四年三月二十三日

午前十時開議

第一明治三十四年度歲入歲出豫算案並明治三十四年會議

第二豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件
(追第四號)審查期限ヲ定ムルノ件

第三明治三十四年度特別會計歲入歲出豫算追加案
(特追第一號)(政府提出衆議院送付)

第四北海道會法案
(政府提出衆議院送付)

第五北海道地方費法案
(政府提出衆議院送付)

第六屯田兵及屯田兵村ニ給與シタル土地
ノ登錄稅免除ニ關スル法律案
(政府提出衆議院送付)

第七登錄稅法中改正法律案
(政府提出衆議院送付)

第八印紙稅法中改正法律案
(政府提出衆議院送付)

第九內務省所管歲出臨時部土木事業費中
信濃川河口修築費繰越ニ關スル法律案
(政府提出衆議院送付)

第十稅關貨物取扱人法案
(政府提出衆議院送付)

第十一永代借地權ニ關スル法律案
(政府提出衆議院送付)

第十二右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十三生絲檢查所法中改正法律案
(政府提出衆議院送付)

第十四右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十五府縣制中改正法律案
(衆議院提出)

第十六郡制中改正法律案
(衆議院提出)

第十七市制中改正法律案
(衆議院提出)

第十八町村制中改正法律案
(衆議院提出)

會議(豫算委員長報告)

會議(特別委員長報告)

第一讀會ノ續(特別委員長報告)

○議長(公爵近衛篤麿君) 是ヨリ報告ヲ致シマス
(小原書記官朗讀)

昨二十二日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日内閣總理大臣ヲ經由シテ裁可ヲ奏請シ及可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

明治三十三年勅令第二百七十七號承諾ヲ求ムルノ件

北海道鐵道部支部局及派出工場現金前渡官吏設置ニ關スル法律案

巡查看守退隱料及遣族扶助料法律案

水害地方田畠地租免除ニ關スル法律案

事業公債及鐵道公債特別會計法中改正法律案

同日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日衆議院ニ送付セリ

畜牛結核病豫防法案

司法官試補實地修習期間ニ關スル法律案

同日本院ニ於テ修正議決シタル政府提出漁業法案ハ即日衆議院へ回付セリ

同日本院ニ於テ議決シタル本院提出案ハ即日衆議院へ送付セリ

東京都制案

千代田縣設置ニ關スル法律案

永代借地權ニ關スル法律案

生絲檢查所法中改正法律案

鐵道敷設法中改法律案

同日左ノ衆議院提出案ヲ受領セリ

第十九民法中改正法律案
(衆議院提出)

第一讀會ノ續(特別委員長報告)

第二十社寺上地林處分法案
(衆議院提出)

第一讀會

第二十一右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
(衆議院提出)

第一讀會

第二十二瀆職法案
(衆議院提出)

第一讀會

第二十三右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
(衆議院提出)

第一讀會

第二十四憲法上ノ保障ニ關スル上奏案
(子爵谷干城君提出)

第一讀會

第一讀會ノ續(特別委員長報告)

山形縣下郡界變更法律案

同日衆議院ヨリ本院ノ回付ニ係ル政府提出漁業法案ハ本院ノ修正ニ同意シ
奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

又同院ヨリ明治三十四年度歲入歲出總豫算案並明治三十四年度各特別會計
歲入歲出豫算案兩院協議會成案ヲ受領セリ

各特別委員會ニ於テ當選シタル委員長及副委員長ノ氏名左ノ如シ

民法中改正法律案特別委員會

委員長 子爵唐橋 在正君 副委員長 三好退藏君

郵便貿易割増ニ關スル法律案特別委員會

委員長 子爵京極高典君 副委員長 子爵新莊直陳君

所得稅法中改正法律案特別委員會

委員長 男爵有地品之允君 副委員長 武井守正君

關稅定率法附屬輸入稅表中改正法律案特別委員會

委員長 子爵鍋島直彬君 副委員長 平山成信君

狩獵法中改正法律案

委員長 子爵大原重朝君 副委員長 三浦安君

葉煙草專賣法中改正法律案

委員長 子爵岡謹美君 副委員長 子爵谷干城君

關稅定率法附屬輸入稅表中改正法律案特別委員會

委員長 子爵唐橋在正君 副委員長 三好退藏君

○議長(公爵近衛篤麿君) 是ヨリ日程ニ移リマス、明治三十四年度歲入歲出
總豫算案並明治三十四年度各特別會計歲入歲出豫算案兩院協議會成案、會議、
成案ヲ朗讀致シマス

〔小原書記官朗讀〕

本院ハ兩院協議會ニ於クル明治三十四年度歲入歲出總豫算案並明治三十四
年度各特別會計歲入歲出豫算案ノ成案ヲ可決セリ因テ議院法第五十六條ニ
依リ及送付候也

明治三十四年三月二十二日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤麿殿

明治三十四年度歲入歲出總豫算案外一件兩院協議會成案
明治三十四年度歲入歲出總豫算

甲號

歲入臨時部

第五款 償金繕入金

第一項 償金繕入金

歲出臨時部

第十二款 吳造兵廠擴張費

第一項 吳造兵廠擴張費

乙號 第四

吳造兵廠擴張費

右ハ貴族院議決案ノ通其ノ他ハ衆議院議決案ノ通トス
但シ本案ノ結果ニ依リ計數上ニ差異ヲ生スルモノハ其ノ數ニ依ル

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス以下之ニ倣フ〕

明治三十四年度歲入歲出總豫算案外一件

右別冊ノ通兩院協議會成案成立セリ依テ及報告候也

明治三十四年度歲入歲出總豫算案

外一件兩院協議委員議長

明治三十四年三月二十二日 侯爵黑田長成

貴族院議長公爵近衛篤麿殿

〔別冊ハ前ニ載錄セルモノニ同シ〕

〔侯爵黑田長成君演壇ニ登ル〕

○侯爵黑田長成君 明治三十四年度歲入出總豫算案外一件兩院協議會成案ノ
報告ヲ致シマス、協議會ハ昨日一回デ決了致シマシタ、尤モ協議委員ガ出來マシ
テ、成案ニ附イテ熟議ヲ致スコトニナリマシタ、ソレヨリ更ニ協議會ヲ開キ

ヨリ貴族院ニ於テ三名、衆議院ニ於テ三名、都合六名ノ少數委員ガ出來マシ
テ、成案ニ附イテ熟議ヲ致スコトニナリマシタ、ソレヨリ更ニ協議會ヲ開キ
マシテ、容易ニ斯ノ如クノ成案ヲ得ルコトニナリマシタ、貴族院ニ
於テモ又衆議院ノ方ニ於テモ雙方十分交讓ノ意ヲ以テ本豫算ヲ成立セシムル
コトニ盡力セラレタノニアリマス、其結果トシテ吳造兵廠擴張費、是ハ貴族
院ノ決議ノ通削除ト云フコトニナリマシタ、從ツテ歲入臨時部ニ於テ償金繕入
金ガ凡ソ百八萬圓餘減ズル所ノ此貴族院ノ修正モ從ツテ衆議院ノ同意スル所
ト爲リ、其代リニ他ノ部分ニ於テ衆議院ノ修正議決致シタ所ハ總テ貴族院ノ
方デ容ル、コトニ致ス、斯様ナコトニナリマシタ、最モ圓滿ナル協議ヲ以テ
此成案ヲ得タ譯ニアリマス、殊ニ全會一致ヲ以テ是ハ可決致シマシタ、右ノ

如キ次第アリマスカラ諸君ニ於テモ衆議院ニ於テハ既ニ可決シテ本院ニ送付ニナッタコトデアリマスカラ、速ニ可決セラレレコトヲ希望致シマス

○議長(公爵近衛篤麿君) 唯今協議委員議長ノ述べラレタ通此成案ハ可決ト

認メテ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤麿君) 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第四號)審査期限ヲ定ムルノ件

○子爵谷干城君 此前ニ當リマシテチヨット請求シテ置キタイコトガゴザイマスガ、昨日此付託セラマシタ豫算ハ正午マデニ御報道致スコトニ御約束致シテ置キマシタガ、昨日ノ中ニ此北海道ニ關係ヲシテ居リマスル金額ガ段々ゴザイマス、サウシマスルト、ドウシテモ此北海道案ガ決了致シマセヌト、之ヲ議シマスルコトハ出來ナイ譯デアリマスカラ、延ベルコトニ致シマスデゴザイマスカラ、ドウゾ此期限ヲ明日十時マデト延バシマスルコトヲ御許ヲ蒙リタイト思ヒマス、如何デゴザイマセウ、ソレカラサウナリマスルト、之ヲ許可サレマスト、今議題ニナッテ居リマスル日程第二ノ豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲ス云々ノ此豫算モ矢張同様二十時マデニ報告ヲスルコトニ致シタウゴザイマス

○議長(公爵近衛篤麿君) 兩方トモ十時、イツノ十時……

○子爵谷干城君 明日ノ十時

○議長(公爵近衛篤麿君) 谷子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤麿君) 是カラ會期モ切迫シテ居リマスルシ、尙ホ追加豫算ナドガ回ッテ來ルカモ知レヌト思ヒマス、サウスレバ此審査期限ヲ定メルト云フコトハ甚ダ徒勞ト爲ルヤウニ思ヒマスカラ直ニ豫算委員ニ付託スルト云フコトニ致シテ如何デアリマセウカ

○議長(公爵近衛篤麿君) ソレデハ其通致シマス

○議長(公爵近衛篤麿君) 明治三十四年度特別會計歲入歲出豫算追加案(特追第一號)政府提出、衆議院送付、會議、豫算委員長報告

一明治三十四年度特別會計歲入歲出豫算追加案(特追第一號)

右衆議院議決案ノ通可決スヘキモノト議決セリ依テ及報告候也
明治三十四年三月二十二日

貴族院議長公爵近衛篤麿殿

豫算委員長 子爵 谷 干 城

○子爵谷干城君 是ハ臺灣ニ關スル追加豫算デゴザイマスガ、委員會ニ於キマシテハ異議ナク決シマシテゴザイマスカラ、ドウゾ其御舍デ滿場可決アラソコトヲ希望致シマス

〔「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤麿君) 本案全部ヲ問題ニ供シマス……御異議ガナタバ可決ト認メマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者多シ〕

○子爵京極高典君 是ヨリ郵便貯金利子割増ニ關スル法律案ノ委員會ニ參りタウゴザイマス

○議長(公爵近衛篤麿君) 宜シウゴザイマス、北海道會法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告、第五ノ北海道地方費法案モ合セテ報告ヲ煩シマス

北海道會法案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十四年三月二十二日

右特別委員長
公爵 二 條 基 弘

貴族院議長公爵近衛篤麿殿

右特別委員長
公爵 二 條 基 弘

北海道地方費法案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十四年三月二十二日

右特別委員長
公爵 二 條 基 弘

○議長(公爵近衛篤麿君) 明治三十四年度特別會計歲入歲出豫算追加案(特追第一號)

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スルノ件(追第四號)審査期限ヲ定ム

貴族院議事速記録第十七號 明治三十四年三月二十三日

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スルノ件(追第四號)審査期限ヲ定ム

豫算追加案 會議 北海道會法案及北海道地方費法案 第一讀會ノ續

二六一

貴族院議長公爵近衛篤麿殿

〔「公爵二條基弘君演壇ニ登ル〕

右特別委員長
公爵 二 條 基 弘

○議長(公爵近衛篤麿君) 明治三十四年度特別會計歲入歲出豫算追加案(特追第一號)

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スルノ件(追第四號)審査期限ヲ定ム

豫算追加案 會議 北海道會法案及北海道地方費法案 第一讀會ノ續

二六一

開キマシテ委員ニ於テモ十分質問ヲ致シ政府委員カラモ十分答辯ヲ聞キマシ
タ結果、今日ノ北海道ニ自治制ヲ許サレタ以上ハドウシテモ此コトガナクテ
ハナルマイ、誠ニ必要ナコトデアラウト云フ所ノ主意ヲ以チマシテ原案ノ通
可決ニナリマシタ、又北海道地方費法案ノ方モ同様ノ主意ヲ以チマシテ衆議
院カラ回リマシタ修正案ノ通議決ニナリマシテゴザイマスカラ宜シタ御承知
ヲ願ヒマス

○子爵谷干城君
私ハ反対ノ意見ヲ述ベタウゴザイマスガ、如何デゴザイマ

○議長（公爵近衛篤麿君） 宜シウゴザイマス

〔子爵谷平城君漢壠二登凡〕

○子爵谷干城君 諸君、此北海道十年經畫ニ附キマシテ皆サンノ御手許ヘ出テ居リマスレ通斯ノ如ク多數ノ書類ガ因ツカ居リマスレ、實ハ私ハ誠ニ不動

強デ昨夜マデ之ヲ延引シタ、ソレカラ如何ニモ大ナル經畫デアリマスカラ終ニ夜前ハ勉強シマシテカラニ今曉ニ掛ケルマデ實ハ目ノ及ブダケ見テ居マシタ、デ此北海道ノ議會法案モ地方費ノ法案モ一通リ目ヲ通シテ見マシタガ法律ノコトハ固ヨリ私ハ實ハ分リマセヌ、分リマセヌガ何分此經畫ノ如何ニモ過大ナルコトトサウシテ順序ニ於テドウデアラウカト思フコトガゴザイマス

デ全體ヲ惡ルイト云フノデハナイ、如何ニモ斯ウナツタラ宜イカモ知レヌ、併
ナガラ何シロ十年ニ涉ル大經畫アルカラ餘程是ハ考ヘテバナラヌ、凡ソ此
政府デセラル、コトハ即チ此二十九年ノ軍事經畫デモ、軍事其他戰後ノ經營
デモ御承知ノ通十年經畫ト云フモノヲシテ其實績ハドウカト云フト、悉ク其
見込通ニハ行カナカツタ、ソレハ一ツノ歴史上ノ證據ヲ示シテ居ル、デ此十年
經畫ト云フモノヲ見マスルト即チ三十四年度ニ於テ二百三十九万九千零五十
八圓ト云フモノヲ支出シテ、ソレヨリシテ漸々ニ年ヲ積ンデ一箇年間ニ三千
三百四十一万八千圓ト云フ金ヲ費スノデアリマス、デ是ハ皆サンノ御手許ニ
モ出テ居リマスル道路橋梁排水費ナド、云フモノモアリマスル、デ此道路橋
梁排水費ナド、云フモノ、其經畫ヲ見テ見マスルト、書面ノ上デハ誠ニ結構
デアル、先づ其國道ヲ拵ヘ、ソレカラ縣道ヲ拵ヘ、ソレカラ里道ヲ拵ヘル、誠
ニ經畫上カラ言ヘバ至極結構デアル、然ルニ此内地デサヘモ道ヲ先キニ拵ヘ
タナラバ人ガ踏ミ均シテカラニ其道ガ立派ニ存スル道理デアルガ、存外大キ
ナ道ヲ拵ヘテ見タ所ガ、豈ニ圖ランヤ通ル人ガナイノデ、僅ニ四間ノ道ヲ拵ヘ

テモ中一間バカリホカ道ガ開ケテ居ラヌデ草茫々ト爲ツテ居ル、内地デスラモ其通デアリマス、ソレヲ此年度割ニ依ツテカラニ國道、縣道、里道ト云フモノヲ捲ヘテ見タ所ガ、アノ北海道デ廣漠タル野ヘ、此年度ニ依ツテカラニ道ヲ捲ヘタ所ガ通ル人ガナイ以上ハデス、終ニ又舊トノ通ニ金ヲ掛ケタモノガ草茫々ニナツテ仕舞ヒハシナイカ、デ私ガ明治二十五年ニ北海道ニ行キマシタトキニ上川ヨリ、サウシテ勇別ノ方へ行ク所ノ道、是ナドハ元ト立派ニシタモノダト云フコトデアルトコロガ其時分ニハマルデ熊笹デ埋マツテカラニ稍通レル位ノモノニナツテ居ツタ、ソレカラシテ網走ヨリ釧路ニ行ク所ノ道モ舊ト捲ヘタ道デアルガ、是レ亦同様ニ餘程荒レテ居ル、今日ハ殆ド聞ケバ百万ニモナツタト云フコトデアリマスルカラハ全ク二十五年ノ歴史ヲ其儘ニ適用スル譯ニハ行キマセヌケレドモ、今申シタ内地デスラモ其通デアリマス、ソレデ開拓ヲスルト云フ順序ノ書キ立テニ於テ誠ニ尤デ一言非難スル所ハナイヤウデアリマスルケレドモ、實際之ヲヤツタトキニハ惡ウスルト云フト唯金ヲ地中ヘ撒散ラスト云フコトニナリハセスカ、又サウ云フヤウチ、言ハバ人ノ居ラヌ所、不必要ノ所ニ道ヲ付ケルト云フコトニナルト、果シテ其道ニ金ガ費エルヤ否ヤ、隨分近來ハドウモ此請負者ヤ何カガ不都合ナコトヲシマスルカラ、道ニナラヌ中ニ或ハ無益ナ費エニナリハセヌカトモ心配ヲスル、ソレデ道路ヲ造リ排水ヲスルト云フハ新天地ヲ開クニ最モ好方法デアリマセウガ、是ニハ隨分種々ノ方法ガアラウト思フ、小口カラビシ／＼開イテ行クカ、中間カラ開キ出スカ、北海道アタリノ所ニナツタナレバ是ハドッテカラヤルガ宜イカ隨分是ハ大キナ研究モノデアラウト思フ、デ殊ニ此十年ニ涉ル事業ヲ極メルト云フコトナレバ餘程穿鑿ニ穿鑿ヲ積ンダ上デナイト、彼ノ二十九年ノ十年經畫ノヤウニナツテハ誠ニ遺憾デアリマス、ソレカラ此地方會議ノ法案竝ニ此地方稅ノ法案ト云フヤウナモノヲ見テ見マスルト、隨分是ハ如何デアラウト思フ、今北海道ヘ此會議ヲ起スト云フコトハ成ル程其人民ニ自治ノ精神ヲ注ギ込ンデ、サウシテ稅ヲ取ラウト云フ方ニハ便利カハ知リマセヌガ、併シ又一方カラ考ヘルト北海道ノ人ハ諸方カラシテ集ツテ行ツテ居ル人デ、ソレデ餘程人質モ種々ノ人質ガ混淆シテ居ル、是ヘ會議ヲ開イタトキニハ或ハ恐ル、非常ナ不都合ナ會議ガ成立チハセヌカ、内地デモ此諸縣ノ縣會ナドニ於テモ御承知ノ通近來ハ頻リニ其地方稅ヲ増加シテ、サウシテ地方ノタメニ圖ルニアラズシテ銘々己レ仲間デ請負ヲシテ金ヲ貪ルト云フ風ニナツテ居ル、ソレヘ以テ北海道ノヤウナ所ヘモツテ行ツテカラニ之ヲ實施スルヨトニ

ナルト、最初ハ北海道長官ガ金ヲ取ッテ仕事ヲシャウト云フ方デ、施政上便利ナカ知ラヌガ、遂ニハ北海道長官ガ餘程困ルヤウニナリハセヌカト考ヘル、ソレデモウ此位ニシテ置キマスルガ、斯ノ如キ十年計畫デ三千三百萬圓ト云フ金ヲ費ス程ノ大事業デゴザイマスルカラシテハ、皆様ハ定メテ参考書ハ疾ニ回ツテ御覽ニナリマシタラウガ、御腹ガ張ツテ居レバ兎モ角モデアルガ、私ノヤウナ不調べデ之ヲ御贊成ナサルノハ甚ダ國家ノタメニ不利益ト考ヘマスルカラ、是ハドウゾ此期ハ否決ニナリマシテ、篤ト調査ノ上デ復タ出サレタラ其時ニユックリ御評議ニナツテ決セラレルコトガ宜カラウト考ヘルカラ、私ハ此會期切迫ノ今日ハ否決ガ宜カラウト思ヒマス

〔國務大臣男爵末松謙澄君演壇ニ登ル〕

○國務大臣（男爵末松謙澄君）唯今議場ノ問題ニナツテ居リマスル所ノ北海道議會ノ法案ニ關シ、尙ホニ之連續致シマシテ地方費ノ法案ニ關シタル事ニ附キマシテ一應所見ヲ諸君ノ前ニ陳述致シマシテ諸君ノ御贊成ヲ請ヒタイトヲ既ニ其時ヲ得タリト爲シ、並ニ之ヲ設立セザルベカラズト認メマシタル理存ズルノデアリマス、唯今谷子爵ヨリ縷々御陳述ニナツタコトモゴザイマス、ソレデ之ニ對シマシテモ後段ニ御答致シマスルガ、先ヅ第一ニ此議會ノ設立由ヲ陳述致シテ置キタイト考ヘマス、北海道ニ於キマシテ北海道會ヲ設立致シマセウト云フニ附キマシテハ、之ニ關スル理由ガ幾ツモアリマスルノデアリマス、先ヅ其沿革上ヨリ一通述べナケレバナラヌト存ジマスルガ、北海道ハ御承知ノ如ク維新以來拓殖ノ事業ニ從事致シマシテ、其制度モ時々ニ變更ヲ致シテ居リマスル次第デアリマスル、而シテ今日ノ場合ニ至リマシテハ、然ルカト言ヒマスレバ、無論ソノ大部分ハ國庫カラ仕拂ツテ來タノデアリマス、故其功績モ頗ル舉ツテ前日ノ觀トハ大イニ違ツテ居リマスルノデアリマス、然ルニ彼ノ土地ヲ開拓シ竝ニ行政ヲスルニ附イテノ費用ノ沿革ハ如何ニナツテ居ルカト言ヒマスレバ、無論ソノ大部分ハ國庫カラ仕拂ツテ來タノデアリマス、故然ルニ一時ハ縣ヲ置イタコトモアリマシテ、三縣置イタ時代ガアツタト存ズルノデゴザイマスガ、是等ハ廢セラレマシテ而シテ北海道廳ノ下ニ支配サレテ居ツタノデアリマス、其節ニ當ツテ費用ハドウナツテ居ツタカト言フト、固ヨリ大部分ハ國庫カラ仕拂ツタニ相違アリセマヌガ其以前縣デ取ツテ居ツタル費用ガアリマスルノデアリマス、デハ水產稅ハ隨分多額デアリマスルケレドモ、其他ニ至リマシテハ其金額ハ誠ニ瑣細ナモノデアル、併ナガラ丁度内地ノ各府縣デ取立テルヤウナルモノガアリマスルカラ、或ハ戸數割モアリマスレバ或ハ地租割モアリ、其他モ段々アリマスルノデアリマス、是等ノモノ

ハ帝國議會開設以前ニ當リマシテハ地方費ノ名目ヲ以テ矢張從前諸縣デ取タモノヲ其儘ニ收入スルコトニナリマシタノデアリマス、併シ從前ノ縣デ取ツタモノデアリマシテ、ソレヲ引續キテ徵收スルヤウナル次第デアリマスルカラ、之ニ附イテハ増額ナドト云フコトハ出來マセヌ、從前ノガ其儘ニ來テ居リマスルカラ、其舊縣ノ所在地ニ依テ其額モ段々違ツテ居ルノデアル、所ガ帝國議會ノ開ケマシタル時分カラ此地方費ト云フモノハ一般ノ租稅ト一緒ニ收入スルコトニナリマシテ、乃チ帝國議會ニ提出シマス所ノ總豫算中ニ是等モ這入ツテ居リマスルノデアリマス、サウシテ總テノ行政ノ費用ト云フモノハ、即チ官ノ行政ノ費用モ町村ノ行政ノ費用モ悉ク政府カラ出スト云フヤウナル次第ニナリマシタ、勿論其中ニ札幌、小樽或ハ國館ニハ自治制ガ布イテアル、其他ニモマダ段々アリマスガ、之ヲ一般ニ言ヒマスルト云フト總テノ費用、即チ町村ノ役場ノ費用マデモ國庫カラ出スト云フ次第ニナツテ居リマス、ソコデ内地トハ、此土地カラ收入スル所ノモノガ違フ、支出ノ方法モマルデ違ツソレデ之ニ對シマシテモ後段ニ御答致シマスルガ、先づ第一ニ此議會ノ設立ヲ既ニ其時ヲ得タリト爲シ、並ニ之ヲ設立セザルベカラズト認メマシタル理由ヲ陳述致シテ置キタイト考ヘマス、北海道ニ於キマシテ北海道會ヲ設立致シマセウト云フニ附キマシテハ、之ニ關スル理由ガ幾ツモアリマスルノデアリマス、先づ其沿革上ヨリ一通述べナケレバナラヌト存ジマスルガ、北海道ニ依リマスルト云フト所謂純粹ノ地方的ノ費用、町村ノ費用、其他警察費ノノガ年々歲々地方ノ事務ニ向ツテ增加シテ行キマスノデアリマス、最近ノ調査ニ依リマスルト云フト、國庫ノ費用ト云フモノハ年々ニ累加シテ進ンデ居リマスノデアリマス、故然ルニ今日ノ制度ヲ此儘ニ致シテ置キマスルト云フト、國庫ノ費用ト云フモノガ年々歲々地方ノ事務ニ向ツテ增加シテ行キマスノデアリマス、最近ノ調查ニ依リマスルト云フト所謂純粹ノ地方的ノ費用、町村ノ費用、其他警察費ノノガ年々歲々地方ノ事務ニ向ツテ增加シテ行キマスノデアリマス、故然ルニ今日ノ制度ヲ此儘ニ致シテ置ケバ致方ハナイノデアリマス、茲ニ一ツノ村ガ出來ル、ヤウナル純粹ニ府縣デ持ツテ居ル所ノ費用ニ向ツテ此三四年ハ十三萬圓カラ乃至十四五萬圓ト云フモノハ年々ニ累加シテ進ンデ行キマスノデアリマス、故然ルニ今日ノ儘ニ致シテ置ケバ致方ハナイノデアリマス、茲ニ一ツノ村ガ出來ル、而シテ其村ニ附イテハ行政ヲセナイト云フコトハ出來ナイ、然ラバ村長モ置キ、役場ノ費用モイルト云フ譯デ、是モ矢張國庫カラ出サナケレバナラヌト云フ次第デ、斯ウ云フ譯デアリマシテ、ソレナラト云ツテ村ヲ捲ヘナイト云フ時ニハ北海道ヲ拓殖ハシナイデモ宜イト云フヤウナコトニナリマスルカラ、是ハ已ムラ得ザル費用トシテ年々ニ累加シテ行ク次第ニナツテ居リマス、故此費用ニ年々應ジテ見マシタナラバ是ハ餘程ノ多額ニ上ルノデアリマスルカラ、是ハアリマス、然ルトコロ諸君如何デゴザイマセウ、是等ノ累加シテ行ク所

ノ費用ト云フモノハ内地ノ租稅ヲ以テ矢張償ツテ行クト云フ次第ニナルノデアリマス、デ内地ノ租稅ハ假令北海道ノ開拓ハ必要ナリト雖モ、其地方ノ純粹ノ費用マデ際限ナク内地カラ之ヲ供給スルコトハ出來ナイ、シテ見レバ何カ一ツ方法ヲ立テケレバナラヌト云フ必要ガ茲ニ一ツアルノデアリマス、而シテ彼ノ地ノ狀況ヲ見マスレバ今日ニ至リマシテハ既ニ餘程ノ發達ヲ致シマシテ、既ニ餘程ノ負擔ニハ堪ヘルダケノ資力ガ既ニ生ジテ居ルノデアリマスルノデアリマス、ソコデ言ハゞ人間デ言ヒマスレバ最早十七八乃至十八九ニモ達シテ居ル、丁年ニ達スルノガ最早僅ノ間ト云フ次第ニナツテ居リマスルノデアリマス、故ニ全クノ丁年ニナツテ全ク獨立サセルノハ今日直ニ出来難イカ知レマセヌガ、今日ノ場合デハ最早數年間ニオ前ハ斯ウシテヤルカラ其後ハ獨立シテ行カチバナラヌト云フコトヲ言得ベキ時ガ既ニ來ッテ居ルト思ヒマスルシ、又向フノ土地ノ人ニ於キマシモ既ニ今日ハソレ位ノ負擔ハシテモ宜シイ、隨分資力ハアルト云フ狀況デ、即チ其負擔ハ致サウト云フ氣合ハ北海道全般ニ生ジテ居ルノデアリマス、此故ニ國家將來ノ財政ノ目的ヲ立テ竝ニ此北海道ノ自治、竝ニ地方政務ニ於テハ自ラ追々ヤツテ行ク所ノ基礎ヲ立テサセル爲ニ此北海道會ト云フモノガ必要ニナツテ來ル次第デアルノデアリマス、デ北海道會ヲ立テマシテモ是ハサウ廣イ權限ヲ與ヘテアルト云フ譯デハアリマセヌ即チ地方ノ費用ノ收入支出ニ附イテ評議ヲサセル位ノ話デ、之ニ對シマシテハ原案施行ノ權モアレバ十分ナル監督權ハ無論附ケテアルノデアリマス、然シテ此地方ノ自治竝ニ地方事務ノ方法ガ段々就クニ從ヒマシテハ、ソレニ向ツテ今日ノ制度ノ儘ニシテ置ケバ澤山國庫ガ負擔スベキ此金ノ幾分ト云フモノヲ利用シテ北海道ノ富源ヲ開拓スルト云方ニ向ケト國庫ノ費用ヲ出シテモ寧ロ開拓事業ニ使フヨリモ地方ノ町村ノ費用ナドト云フ類似ノモノニ之ヲ使フノガ甚ダ多イノデアルノデアリマスカラ、是ハ一ツ矯正致シタイ考デアリマスノデアリマスル、故ニ此北海道議會ト云フモノヲ開キマスレバ全體ノ國ノ租稅收入制度モ整理ガ出來、地方ノ自治ノミノ自治デハナイ地方事務ノ分割モ出來、サウシテ地方事務ニ向ツテ内地カラ注込ム所ノ此費用ノ節減モ大ニ出來ルト云フ次第デアリマスルノデアリマス、然シテ地方ニ斯ノ如キ政務ヲ別ニ起サセルニ附キマシテハ、ドウシテモ議會ト云フモノガナケレバ無理アル、今日ノ時勢ニ當リシマテ單ニ地方ノ長

官ダケノ見込ヲ以テ、サウシテ地方稅ヲ徵收スルナドト云フヤウナコトハ是非ハ出來得ザル次第デアリマス、即チ道會ノ設立ト云フコトガ必要ナル所以デアリマスノデアリマス、是ガ即チ此道會法並ニ地方費法ニ向ツテノ趣意デアリマス、即チソレニ向ツテノ必要ガアルノデアリマス、然シテ之ニ關聯シタ事デ豫算ノ問題ニ多少及シテ來ナケレバナリマセヌ、之ニ附キマシテハ谷子爵ヨリ御述ベニナリマシタガ、是ハ自分カラ辯ジマスレバ谷子爵ノ申サレタコトハ正鶴ヲ得テ居ルトハ考ヘラレヌノデゴザイマス、谷子爵ハ頻ニ十年計畫ト云フコトヲ頻ニ仰セラレマシタ、トコロデ此十年計畫ト云フ文字ノ中ニ實ハ大分世ノ人ガ誤タルヤウナル所ガアラウカト考ヘテ居ルノデアリマスルデアリマスルガ今度私等ガ之ニ附キマシテノ考ニ附キマシテハ、此十年經畫ヲ立テルニ當ツテ直チニ豫算トシテ諸君ノ御協贊ヲ求メル又我ゝモ必ズ其通り行ツテ行クト云フ次第デハナクシテ、是ハ當局者ニ於テ凡ソノ腹案ハドンナモノカト云ヘバ腹案ハ一通拵ヘテ置カナコトヲヤルト云フコトヲ定メテアルノデハナイノデアリマス、豫算ノ上ニ於キマシテハ道路橋梁並ニ排水ノ事業ハ十年ノ繼續ニナツテ居リマスノデ、此十年ノ繼續トシテ出シテ居リマスガ、其他ニ附イテハ十年間ヲ通シテ必ズ斯ノ如キケレバナラヌカラ拵ヘタト云フヤウナ次第デアリマス、豫算ノ上ニ於キマシテハ道路橋梁並ニ排水ノ事業ハ十年ノ繼續ニナツテ居リマスノデ、此十年ノ費用ハ年々ニ矢張リ議シテ行ク性質ノモノニナツテ居リマス次第ニナツテ居リマスルノデアリマス、トコロデ道路橋梁排水ニ關係シテハ何故ニ繼續ニシタカト云フコトニ附キマシテハ一應辯シテ置キタウゴザイマシタガ、唯今谷子爵カラモ段々ソレニ附イテ御述ベガアリマシタカラ聯關シテ一通り述べナケレバナラヌト思ヒマスガ、今日北海道ノ拓殖事業ト云フモノハ頗ル進ンデ居ル、併ナガラ將來ニ於キマシテ日本ノ富源ノ本ト爲ルニ附キマシテハ彼地ニハ無盡ノ材料ガアル、併シ道路橋梁ノナイガタメニ此開拓ノ事業ト云フモノガ十分擧ラヌノデアル、一ノ移民部落ヲ拵ヘマシテモ道路ガナイガタメニ平生ノ飯米モ漸ク脊中ニ脊負ツテ匍匐シテ行クト云フヤウナコトデハ開ケヤウガナイノデアリマス、ソコデ既ニ諸君ノ御協賛ニナツタ鐵道モ出來ル、是モ十年間バカリデ出來ル次第デアリマスガ、此鐵道ト相待ツテ殖民地ノ所ニソレノ道モ開カナケレバナラヌ、又原野ニ部落ヲ拵ヘルニ附キマシテハ相當ニ排水ノ事業モ施サナケレバナラヌ、排水ト申シマシテモ即チ小サナ溝ヲ拵ヘテ其土ヲ以テ直ニ道路ニスルト云フヤウナ次第デアリマス、是等ノ凡ソノ目的ヲ立テ、行カナケレバ

ナラタ、何故之ヲ一年限ニシナイカト云フ御論モアリマセウガ、凡ン殖民ノ經略ヲスルニハ凡ソ今年ハ斯ウ云フヤウニヤラウ、其次ハ斯ウ云フヤウニヤラウト云フ地圖ガ引張レテ居ラナケレバ移民ノ獎勵ハ甚ダムヅカシイ、故ニ此立派ナ地圖モ出來テ居ル次第デアリマスルノデアリマス、サウシテ凡ソノ方法ヲ立テ、然シテ此拓殖ノ事業ヲ大ニ舉ゲタイ、之ヲ一年ダケデハ目的ガ著キ兼子マスルガ故ニ、繼續事業ニナツテ居ルヤウナ次第デアリマス、其他ハ繼續事業ニナツテ居リマセヌノデアリマス、尤モ航海補助ノ如キハ既ニ先年議會ノ協賛ヲ得テ行ツテ居リマス、其他ニ少シバカリアルヤウナ次第デアリマスルガ、一般ノ費用ハ繼續ニ致シテハナインデアリマスルノデアリマス、然シテ此金ノ所ニ於キマシテ幾千萬圓ト云フヤウニ谷子爵カラ仰セラレマシタガ之ニ附キマシテハ御考ヲ願ハナクチヤナラナインハ彼ノ豫算ニ附キマシテハ實ハ此所謂十年經畫ト云フモノガ、マルデ臨時ニ起ツテ、マルデソレダケノ金ヲ外ノモノ以外ニ使フト云フ譯デハナインデアルノデアリマスル、即チ三十年ノ豫算ノ如キハ三十三年度ト大差ハナインデアリマス、同ジャウナルモノデアリマス、唯アスコニ参考トシテ表ニ舉ゲテアルヤウナモノ、中ニハ既ニ議決ニナツテ居ルモノ既ニ今日經常費ヲ使ツテ居ルヤウナモノガ這入ツテ居ル、故ニサウ云フヤウニ見エルノデアル、ソレモ唯今申シタ通繼續事業トシテ提出シタモノデハナイ、繼續事業ハ排水道路ノ一ツダケデアリマスガ、之ニ附イテモ現在起業費ト致シマシテ四十七萬圓ホド既ニ使ツテ居ル、此三十三年度ニ於テモ有ルノデアル、ソレヨ少シク殖ヤスト云フダケニ止マル次第デアルノデ、決シテ悉ク新ニ之ヲ要求スルノデハナイ、況ヤ又是等ノ費用ハ彼ノ制度ヲ變更スルガ爲ニ地方ニ向ツテ町村其他純粹ナル地方ノ費用トシテ年々之ヲ累加シテ出シテ行クモノト比較シテ見マシタトキニハ、假令ソレダケノモノ行ク益、年々殖エテ行クト云フヤウナルモノトハ性質ガ違フト云フコトハ御考ヲ願ヒタイノデアル、而シテ唯今谷子爵カラ擲ツテ之ヲ補助シテ、イツマデモ行ク益、年々殖エテ行クト云フヤウナルモノトハ性質ガ違フト云フコトハ御考ヲ願ヒタイノデアル、而シテ唯今谷子爵カラモ言ハレタ此法案ト豫算案ト餘程密接ナ關係ガアルヤウナコトヲ申サレマシタガ、是ハ實ハ已ムヲ得ザル次第デ、今年ノ總豫算ニハ北海道ニ關スル費用ハ一文モナインデアリマス、ソレデ悉ク之ヲ追加豫算トシテ提出サレタ次第デアリマス、ソレデ一面カラ考ヘマスレバ是ハ實ハ若モ總豫算ハ總豫算ニスルコトガ出來、或ル事

柄ニ限ツテ追加豫算トスルコトガ出來レバ、ソレガ一番宜シカツタ次第デアリマセウケレドモ、ソレハ出來ナイ、如何トナレバ第一ニ制度カラ違ツテ來ルノデアリマス、即チ政府ノ見ル所デハ地方ノ費用ノ分割ト云フコトヲ眼目トシタノデアリマス、サウスレバ例ヘバ一ノ例ヲ舉グテ見マスレバ、從前ノ通ノ制度デアルナレバ警察費ト云フモノガ豫算ノ中ニ這入レバ宜シ、然ルス、警察費ノ補助ト云フコトニナリマス、サウ云フヤウナコトニ附キマシテ段々類ヲ舉ゲテ行きマスト、制度ガ變ツテ來マスレバ、ドウシテモ總豫算ト一緒ニスルコトガ出來ヌノデアリマス、組立ガマルデ違ヒマス故ニ、ソレデ追加豫算ニナツタヤウナ次第デアリマス、ソレデ餘程此道會法ト追加豫算ト相俟ツテ行ハレマスノデ、其一ガ破レバ双方トモ破レルト云フ譯デアリマス、其關係カラ言ヘバ單獨ニ之ダケヲ行ヒマスト豫算ノ方モ何カ外ノ手段ヲ講ジナケレバ皆無ニナルト云フヤウナ次第デアリマス、唯今ノ關係ハ今申スヤウナ次第カラ生ジテ居ルノデアリマス、而シテ要スルニ今日ニ於キマシテ北海道ニ於キマシテ議會ヲ設立致シマシタト言ウテモ、其爲ニ大ニ憂フルヤウナルコトハ生ジナイ、谷子爵ガ御憂ヘニナルヤウナ憂ハ生ジナイト信ジテ居リマスノデ、而シテ是カラ生ズル利益ハ甚ダ大ナルモノデアル、從ツテ彼ノ地ノ總テノ事業ガ大ニ發達スルヤウナ次第ニナリマスレバ、國家ノ利益タル誠ニ莫大ナモノデアルカラ致シテ、今日切ニ諸君ニ希望致シマスル所ハ、ドウゾ此議會法ト云フモノハ御通過ニナリマシテ、而シテ彼ノ豫算モ之ト共ニ通過スルヤウニ御心配ヲ願ヒタイ次第デアリマス、勿論豫算ノ上ニ附キマシテ金ノ多イトカ少イトカ云フヤウナコト、或ハ此十年ハ長イトカ短イトカ云フヤウナ論、又來年ニナツタ所デ此費用ハ多イトカ少イトカ云フ論ハ諸君ニ於テ十分御討論ニナル餘地ハ存シテ居ル次第デ、即チ唯今申シタ通一ノ排水費ヨリ外、繼續ニハシテナイト云フコトヲ以テモ明ナルコトデアリマス、故ニ私ハ諸君ニ向ツテ切ニ願ヒマスルハ、ドウゾ道會法並ニ地方費法ハ茲ニ於テ二讀會ニ移ラレルヤウニ希望致シマス、尙ホ諸君ニ於キマシテ御疑點ノアル所ハ大體ニ附イテハ私ヨリ幾重ニモ御答辯致シマス、又小イ數字ナドノコトニ附キマシテ御参考ガ要ルト云フコトデゴザイマスレバ、政府委員モソレ～書類ナドヲ持ツテ居リマスカラ委シク御答辯致シマス、切ニ諸君ニ希望致シマスル、此案ノ通過ダケハ出來ルヤウニ願ヒタイト思ヒマス

○伯爵清棲家教君 私ハ特別委員長ニ質問ガシタインデゴザイマス、唯今特別委員長ハ此案ニ附イテ昨日十分ニ審査ヲシタト云フコトデゴザイマシタガ、之ニ附キマシテ伺ヒタイノデゴザイマスガ、北海道ニ此法案ヲ施行シマスルニ附キマシテ、北海道ノ組織ト云フモノガ變リマス、就キマシテ此法案ヲ施行シマスニ、國庫ノ歲入歲出ノ上ニ於テ金圓ニ幾ラノ差ガゴザイマスカ、

其邊ヲ伺ヒタイ、尙又今一ツハ北海道案ノ第三條ニゴザイマスガ、即チ此「観員定員ノ三分ノ一以下ノ場合ト雖内務大臣又ハ北海道廳長官ニ於テ臨時補闕ヲ必要ト認ムルトキハ其ノ補闕選舉ヲ行フヘシ」トアリマスガ、是ハ内務大臣ガ行フコトモアリ、北海道長官ガ行フコトモアッテ、勝手ニ行ヘルト云フ場合デゴザイマスカ、其邊ヲ伺ヒタイ

○子爵岡部長職君 唯今清棲伯爵ハ特別委員長ニ質問サレタノデアリマスガ、特別委員長ハ退席致サレテ居リマスガ如何ノコトデゴザイマスカ

○公爵二條基弘君 唯今特別委員長ヘノ御質問デアッタト思ヒマスガ、モウ此事ニ附キマシテハ、總テ政府案通デアリマスカラ、政府委員カラ御聞キニナツタ方ガ間違ガナクツ早ク御分リニナラウト思ヒマス

○伯爵清棲家教君 先刻特別委員長ハ此法案ハ十分ニ審査ヲシタト云フコトデアリマスカラ、特別委員長ニ伺ヒマスガ、總テ政府ノ法案ノ通デアルカラト言ハル、ナラバ特別委員ハ十分ノ審査ヲナラヌトヨリ外伺ヘマセヌ、ソレデ十分御審査ニナツタト云フコトデアルカラ特別委員長ニ伺ヒマスガ、尙第十二條ニ「北海道會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ臨時急施ヲ要シ之ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキハ北海道廳長官ハ專決處分シ次ノ會期ニ於テ」云々ト云フコトガゴザイマスガ、前ニ申シマシタ三條ノ如キ唯今申シマシタ條ノ如キ是等ハ如何ニモ北海道長官ニ權利ヲ十分ニ與ヘタコトト考ヘマスガ、是等ニ附キマシテ現在ノ府縣制及郡制トノ關係ハ如何ニナツテ居リマセウカ、其邊ヲ一應伺ヒタイ、尙御答辯ニ依ツテ……

○公爵二條基弘君 チヨット清棲伯爵ニ申上ゲマスガ、成ル程唯今委員長ハ報告ハ致シマシタ、サリナガラ昨日ハ委員長ハ兩院協議會ノ方ヘ出テ居リマシテ、副委員長萬里小路伯ニ此事ハ御一任シテアッタノデアリマス、ソレデ委員會ノ模様等ハ少モ存ジマセヌガ、唯副委員長カラ何ニモ異議ナク通ツタト云フコトヲ承知シマシタカラ其段ヲ御報告シタノデアリマス、此委員長トシテハ萬里小路伯カラ御答辯ヲ請ヒタイト思ヒマス

○伯爵清棲家教君 然ラバドナタカラデモ宜シウゴザイマスガ、唯今伺ヒマス

シタ點ニ附キマシテ正副委員長ノ中ヨリ御答ヲ願ヒマス

○伯爵萬里小路通房君 清棲伯爵ヨリノ質問デアリマスガ、如何ニモ今委員長ノ二條公爵カラ述ベラレマシタ通、委員長ハ協議會ニ出席シテ……

〔子爵岡部長職君「萬里小路伯爵ノ聲ハ小サクテ聽エナイ、故ニ演壇デハキリ願ヒタイ」ト述フ〕

〔伯爵萬里小路通房君演壇ニ登ル〕

○伯爵萬里小路通房君 ソレデハ……昨日ノ委員會ハ二條公爵ガ缺席シテ居ラレマシタカラ、本員ガ其席ヲ保チマシタ、今委員長ノ報告ニハ十分ナ審査ヲ遂グタト言ハレマシタガ、ソレハ十分ナ審査ハ遂グタニ違ヒナイ、ケレドモ、何分時間トシテ漸ク午前九時ヨリ十二時マデノコトデアリマシタカラ、大體ノ質問ハ多少致シマシタケレドモ、此字句ナドノコトニ至ツテハ、ソレ程實ハ質問ハナカツタ

〔男爵尾崎三良君「モウ少シ大キナ聲デ御説明ヲ願ヒマス」ト呼フ〕
モウ是ヨリ大キクハ言ヘマセヌ

〔男爵尾崎三良君「ソレナラ他ノ人ト代ツタラ宜カラウ」ト呼フ〕

ソレハ代レト仰ツシヤレバ代リモシマスガ、他ノ委員ノ御方モ矢張是ダケノコトシカ、實際ノコトデアリマスカラ、ナカラウト思ヒマスカラ、私ガ答ヘテ是ダケノ聲デ分ルナラバ御聽キ下サルシ、分ラナケレバ代リマス、ソレデドウゾ總テノ質問ハ政府委員ニ願ヒタイ、拙者モ實ハ左程十分ナ質問ハ致シマセヌ、之ニ附イテ此案ニ於キマシテハ、拙者ハ少シ考モ違ヒマシタカラ、大體ノコトヲ聞イテ字句ノコトハ餘リ聞キマセヌデアリマシタカラ、細カクハ御答辯ハ出來マセヌ、間違ウタコトヲ言ヘバ尙更事ガムヅカシクナラウト思ヒマスカラ、ドウゾ政府委員ニ御質問ヲ願ヒタイ

○伯爵清棲家教君 唯今委員長ニ質問ヲ致シマシタラ、委員長ハ兩院協議會ノタメニ出席シナカツタ、副委員長カラ御答辯ガアリマシタガ、ソレヲ伺ヒマスルト僅々タル時間ニ於キマシテ斯ノ如キ大切ナル法案ヲ十分ノ質問モナク御審議モナクシテ議場ヘ御報告ニナツタヤウニ考ヘラレマス、故ニ私ハ遺憾ナガラ此案ニハ同意スルコトハ出來ナイノデアリマス、一言申シテ置キマス

○伯爵萬里小路通房君 モウ拙者ニハ用ハアリマセヌカ……

〔國務大臣男爵末松謙澄君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵末松謙澄君) チヨット一言申上ゲマスガ、唯今清棲伯爵ノ

御質問ニ對シマシテ委員長或ハ副委員長カラノ御話振リハ實ハ私ハ昨日ノ委員會ニハ最初ヨリ仕舞ヒマデ出席致シテ居リマシタノデ能ク承知致シテ居リマスガ、或ル場合ニ於テハ二條公爵ノ御出ノコトモアリ、或ル場合ニハ萬里小路伯爵ノ居ラレナカツタコトモアルノデアリマス、併ナガラ唯今ノ御質問ノ點ハ總テ其御質問ハ出テ居ラタノデアリマス、其コトハ他ノ御方モ其處ニ御出デタ御方ハ御承知デアルト考ヘルノデアリマス、即チ此内務大臣又ハ北海道長官ノニツニ掛ツテ居ルコトモ質問ガアリ、ソレカラ唯今ノ第十三條デアリマスガ北海道會ノ權限ニ屬スル事項ハ云々トアル、是モ質問ガ出テ居ラタノデアリマス、私確ニ記憶致シテ居リマス、ソレデ今ノ内務大臣又ハ北海道長官ト云フコトニ附イテハ、是ハ矢張雙方ニ權力ヲ與ヘテ置ク方ガ宜シイ、若モ北海道長官ニ於テ其臨時補缺ヲ必要トシナイ時デモ、内務大臣ニ於テ必要ナリト認メタ時ハソレヲ行フト云フヤウニシテ置ク方ガ宜シト云フ趣意ヲ當時ノ政府委員ヨリ申上ゲテアル、ソレカラ第十三條ノコトニ於キマシテ北海道會ノ權限ニ屬スル事項ハ其議決ニ依リ北海道長官ガ之ヲ行フト云フノハ是ハ内地ニ於テハ參事會ガアリ、又前ノ府縣制ノ時ニモ常置委員ト云フモノガアッテ、ソレデ縣會ノ議決ニ依ツテ此參事會員ナリニ常置委員ナリニ委セルト云フコトガアル、然ルニ北海道ニ於キマシテハ内地ト違ツテ參事會ト云フモノモ置カナイ、又以前ノ常置委員ト云フモノモ置カナイカラシテ、然ラバ常置委員、參事會員ノヤルベキ事柄ヲ一々縣會デ……道會デヤルト云フコトハ甚ダ混雜極マルノデアリマス、故ニ北海道會ニ於テハ斯ウ云フヤウナコトハ長官ニ於テ專決シテ宜シト云フヤウナコトヲ議決シテ、豫メ極メテ置キ、是ハ北海道廳長官ガヤツテモ宜シト云フ趣意デアルノデス、ソレトヘ辯明ガアッタト私ハ覺エテ居リマス、速記錄ガアリマスナラ、其中ニ書イテアルト思ヒマス、ソレカラ豫算トノ關係ノコトニ附キマシテハ、無論此案ハ豫算ノ方ニヒドク縛ラレタ側デアリマセヌカラ、極ク精密ナコトニハ固ヨリ這入ラナイ、然ラバ大體ニ於キマシテ三十四年度ノ豫算ノ如キハ即チ三十三年度ト違ハナイノデアル、之ガタメニ大イニ殖エルヤウナコトモナイト云フコトモ其時話合ヒガアッタ次第ト記憶シテ居リマス、故ニ偶丁度其御出デニナラナカツタ方ノ所ニ質問ガ出タモノデアリマスカラ、マルデ議論ガ起ラナカツタ如クニ御推察ニナリマシテハダイニ事ノ真相ヲ誤ル譯デアリマスカラ、自分ガ最初カラ仕舞ヒマデ居リマシタノデ、一應此事ヲ述ベテ置キマス

○子爵堀田正養君 チヨツト……モウ委員長ニ質問シテモ分リマセヌカラ内

務大臣ニ質問致シマス、是ハ北海道會法案ト云フモノガ通過スレバ、別ニ何カ之ニ附イテハ施行法ト云フモノガ出來ルト云フ御見込デスカ

○國務大臣(男爵末松謙澄君) 無論サウデアリマス

○子爵堀田正養君 是ガ發布ノ上ニ、勅令トカ何カデ施行法ガ出來ルト云フ御見込ナラバ、本法施行期限三十四年四月一日トアリマスガ、是ガ明日ニモ出來ルト云フコトデアレバ其手續ハ必ズ出來得ルト云フ御見込デスカ、北海道ハ神奈川縣ヤ横濱トハ遠フ、中々遠方ダ、ソレニ向ツテ施行細則ト云フモノヲ極メラレテ、ソレガ北海道ノ全道ニ届イテ、サウシテ是ガ行レルト云フ御見込デスカ

○國務大臣(男爵末松謙澄君) 御答致シマス、ソレハ差支ナイ積デアリマス、如何トナラバ此豫算ノ關係ヤ何ヤカヤニ於キマシテ、四月一日カラ例ヘバ斯ウ云フ費用ハ地方デ持ツベキモノ、是ハ此所デスベキモノト、其主意サヘ極レバ宜シイノデアッテ、議會ヲ開クト云フコトハ少シ先キヘ行ツテ宜シイヤウニナツテ居リマスノデアリマス、即チ議員ガ集ルマデノ間ハ北海道廳長官ガ議會ノ事ヲ行フヤウナ仕組ニシテ行キマスカラ差支ナイ、デ矢張年度ノ換リノ所カラヤツテ置キマセヌト總テノ事ガ却ツテ大イナル混雜ヲ生ズルト云フ次第デゴザイマス

○子爵岡部長職君 前刻豫算委員ノ方ニ付託サレテ居ル所ノ豫算案ノ報告期限ハ明日マデニ延シタイト云フ谷子爵カラノ御發議ガ出マシテ、此說ガ満場御異議ガゴザイマセナカツタガ其延期ヲ請ハレタト云フ趣意ハ、其節谷子爵モ述べラレタ通ノコトデアッテ、其案ノ中ニハ北海道ニ對スル費用ガ籠ツテ居リマスカラ、唯今議事ニ上ツテ居ル所ノ案ノ成行如何ヲ見定メルマデハ其豫算案ヲ議スルコトガ出來ナイカラト云フコトデアリマセウ、其通ト本員ハ考ヘマス、トコロガ内務大臣ハ其事ニ附キマシテ先刻演説中ニ成ル程此法案ト豫算案ト云フモノハ牽聯シテ居ルモノデアリマスカラ、一ガ死子バ、片ツ方モ死ナチバナラスト云フコトニナルカラ、甚ダ懸念デアル、豫算案ハ既ニ衆議院カラ回ツテ居リ、コチラニアルモノデアルカラト云フ所マデハ、内務大臣ハ御話ハナカツタ、兎ニ角今豫算案ガ豫算委員ノ手ニ在ル以上ハ若モ此法案ガ潰レタナラバ豫算案ノ始末ガ困ルダラウト云フ御案ジガアッタヤウニ考ヘマス、本員ハ其御案ジニハ及ブマイト考ヘマスカラ、是ハ内務大臣ニ御尋ヲ致シタイト思ノ、本案ガ可決サレマスレバ即チ唯今委員ニ付託ニナツテ居リマスル所ノ豫算案中ノ北海道會ノ費用ハ可決スベキモノデアル、若モソレガ否決ニナッ

タナラバ北海道ノ費用ダケハ削除シテ後ノモノダケヲ可決シテ差支ナイ、而シテ其結果トシテ政府ハ此法案ガ否決ニナリマシタナラバ其否決ニ伴フ所ノ追加豫算案ナリ出セバ宜シイコト、思ヒマス、若シソレガ死ンダナラバ他ニ

方法ヲ考ヘナケレバナラヌカノ如キ一語ヲ内務大臣ハ御添ニナッタコト、考ヘマスガ、ソレハソレデ宜カラウト思ヒマス、唯豫算ノ方ニ在ルカラ此法律ヲ活カシテ貰ハナケレバナラスト云フガ如キ少シ御言葉ノ中ニ意味ヲ含ンデ居ツタカノ如ク考ヘマスガ、豫算ト云フモノハ此法律ノ結果ニ依ツテ生ミ出スモノデアツテ、全體豫算ガ出タト云フノガ、秩序ガ間違テ居ツタト言ハナケレバナラヌガ、併シ其處マデハ申シマセヌガ、此案ハ豫算アルガタメニ通過サセチバナラスト云フ如キ少シモ譯ノ分ラヌ説ガ貴族院議員ノ中ニチラホラ聞エテ居ル、本員ニ於キマシテハ誠ニ斯ノ如キ豫算ガ潰レテハ困ルカラ此案ヲ可決セチバナラスト云フヤウナ理窟ヲ以テドウカ賛成ヲシテクレト云フコトヲ御マスガ、以テノ外ノコト、考ヘマス、固ヨリ政府ハ左様ナコトヲ以テ我ニ議員ニ向ツテサウ云フヤウナ理窟ヲ以テドウカ賛成ヲシテクレト云フコトヲ御誘導ニナッタコト、ハ考ヘマセヌガ、尙ホ念ノタメニチヨト伺ヒマス

○國務大臣（男爵末松謙澄君） 唯今ノ岡部子爵ノ御尋ニ御答致シマスルガ、成ル程法律ガ潰レマスレバ、從ツテ之ニ伴フ所ノ豫算ヲ出シ換ヘルト云フノハ當リ前ノ話デアル、デ今ノ御口上ノ中ニ何故ニ法律モマダ極ラヌ前ニ豫算ガ出タカト云フコトハ論ジラルレバ論ジラレル、誠ニ左様デアリマス、時間ガ許セバ左様ナコトデアリマスガ、實ハ北海道ノ道會法ト云フモノヲ先づ提出致シタノデアリマス、衆議院ノ方ニ……トコロガ色ゝノ出來事ノタメニ衆議院カラコチラへ回ツテ來ルノガ、遲クナタト云フノデアリマス、トコロデ會期モ切迫シテ餘日ヲ待ツテ居ルコトガ出来ナイノデアリマス、此法律案ノ運命ノ定マルノヲ見テ而シテ後豫算ヲ衆議院ニ提出スルコトニナリマスガ、實ハ間ヲ置イテ出シタヤウナ次第デアリマスカラ、其處ハ御諒察ヲ願ヒタイ

○子爵岡部長職君 モウ一應チヨット伺ヒタイ、ソレナラバ萬一此案ガ否決ニナリマスレバ、政府ハ直ニ其結果ニ伴フ所ノ御詮議ハナサルノデアリマスカ、會期ガ若モ足ラナケレバ……左様ナコトハ實ハ本員カラシテ伺フベキ筈デモナイカ知レマセヌガ、或ハ會期ノ延長ヲ奏請シテモナサルノガ御當然ト考ヘマスガ、ソレハ斯ノ如キコトヲ本員カラ申上ゲルノデハ決シテナイガ兎モ

角モ若モ否決ニナラバソレニ伴フ所ノ相當ノ御詮議ハナサルコトダラウト考所ノ方法ハ何カ講ジナケレバナラヌト云フコトハ、其邊ハ如何ニナルカト云フコトハ分リマセヌガ、併シ兎モ角モ會期モ極ク切迫ニナッテ居リマスルガ故ニ甚ダ困却ト云フコトハ諸君御承知ヲ願ヒタイノデ、實ハ餘程困リマスルノデアリマス、唯ソレダケノコトヲ申上ゲテ置キマス

○子爵堀田正養君 尚ホ内務大臣ニ質問ヲ致シマス、此間實ハ實業教育費國庫補助ノコトカラシテ、アノ事カラ法律ノ無イノニ豫算ヲ造ツテ出スコトガ始ツテ來タ、是ハ全體憲法ノ何箇條カデ許サレテ居リマスカ、或ハ他ノ法律デ法律ノ無イノニ豫算ヲ帝國議會ニ提出スルトカ云フコトガ許サレテアリマスカ、或ハ大臣ガ何カ職權トカニ在ルノデスカ、ソレヲ明ニ御答ヲ願ヒマス○國務大臣（男爵末松謙澄君） 唯今ノ堀田子爵ノ御尋ニ對シマシテハ、事實ハ此實業教育ノ問題ノ起リマシタトキハ北海道ノ方ノコトモ衆議院ニハ豫算ガ出タト云フコトデアリマス、アレヲ聞キナガラ斯ウ云フコトヲシタト云フ譯デアリマセヌ、又事ノ進行上ニ於キマシテハ實ハ成ルベク法律ガ單獨ニ行ケルモノハ法律案ヲ前キニ出シテソレヲ見届ケテ而シテ後ニ豫算ヲ出スト云フヤウニ致シタ方ガ事柄ノ運ビ方ニ致シラハ宜シイ、併ナガラサウンテハイケナイト云フコトモ別ニナインデ、ソンナニ唯今ノ御尋デ法律案ガ通過セザル中ニ豫算ヲ提出シタノハ憲法ニデモ背イタカノ如キ御言葉デゴザイマスガ、ソレ程ニハ感ジマセヌ、或ル事柄ニ於テハ相並ベテ相對照シテ見テ而シテ後ニ決スルト云フヤウナ利益ノアルコトモアル、或ハ一緒ニ出シテ宜イコトモアルカト考ヘマスル次第デアリマスルノデ、今日ニ於テ之ヲ判断致シテ御答ヲ致ス譯ニハ參リマセヌ、併ナガラ之ヲ出シタガタメニ私等ガ憲法ニ背イタカト云フガ如ク御論ジニナリマシテモ、サウ云フヤウニハ感ジマセヌ、トモガ宜カラウト思ヒマス、其處デ本員ハ何分ニモ此案ニ賛成ノ出來マセヌ、ト申シマスルノハ最前特別委員會ノ報告ハ實ニ報告ニナッテ居ラヌ、斯ノ如キ重

要ナル問題ヲ唯一二言ノ下ニ審議ヲシテ全般政府案ニ同意ヲシタト云フコトノ報告デハ是ハ報告トハ思ハレナイ、清棲伯爵ノ甚ダ漠トシタル報告デアッタトハレタコトモ至極御尤ニ考ヘラレル、滿場諸君ニ於キマシテモ實ニ茫漠タル……萬里小路副委員長ノ實ニ漠然トシタル御答辯ノ如キ、之ヲ以テ満足ヲサレテ諸君ガ此重要ナル案ニ賛成ヲ表サレマスルコトガ出來マセウカ、實ニ貴族院ハ無責任ノ地位ニ陷ラナケレバナラヌト考ヘマス、此案ノ可否ト云フモノハ慎重ナル考慮ヲ要サナケレバ極メルコトノ出來ナイコトニ違ヒナイコトハ諸君モ疾クニ御承知ノコト、考ヘマス、決シテ此法案マデ此會期ニ決了シナケレバ國ノタメニ大變デアルト云フ程ノコトデハナイノデアリマス、貴族院ニ於テハ總テ法案ニ對シテハ慎重ナル審議ヲ以テ將來過ヲ悔ユルヤウナコトノナイコトヲ期スルノガ我ゝノ最モ期セナケレバナラヌコト、思ヒマスカラ、唯是ダケノ理由ヲ以チマシテ法案ニ對シテハ兎モ角モ此會期ニ於テ議スルコトハ御止メニナルヤウニ、即チ此案ニ附イテハ否決ヲ願ヒマス、ソレデ絶對的贊成トカ、反對トカ云フコトハ唯今申出シマス必要ハナイト考ヘマス

○男爵北垣國道君 私ハ此案ニ賛成デアリマスガ、大體ノ上ニ附イテ賛成ノ理由フ少シ述べマス、私ハ此問題ハ實ニ北海道ノ拓殖ノ上ニ附イテハ重要ナ問題ト考ヘマス、事實上カラ之ヲ賛成セザルヲ得マセヌ、色々之ニ附イテハ御意見モアリマスガ、サリナガラ反對ト云フ御意見デハナイ、唯之ヲ延スト云フ御意見ノヤウニ承リマス、又十年經畫ト云フモノニ一ノ御疑ガアルテ北海道會法ト云フモノニ附イテ御疑ガアルト云フ反對ノヤウニ思ッテ居リマスガ、事實上今日此法案ノ生ジ出テ又豫算モ斯ノ如クニナリマスル次第ハ、抑、拓殖ノ進歩ニ副ヒマシテ斯クナツタモノト考ヘマス、第一、此經費ノ是ハ改正デアリマシテ、行政經費ノ改正ニ附イテ斯ノ如キ法案ガ出ルノデアリマスガ、此北海道議會ト云フモノハ抑、二十三年ニ此國會ノ開ケマシタ時分カラ世ノ中ニハ出テ居リマスル、北海道ノ經費ヲ議スルニ當ツテ此堂々タル國會議場デ町村役場費、檢徵費マデ議スルヤウナ有様デアリマスカラ、其時分カラシウシテモ地方費ト云フモノハ其地方ニ議會ヲ開イテ以テ議サシメナケレバナラヌト云フコトガ生ジテ居リマシタ、サリナガラ此頃ハマダ人口ニシマシテ云フヤウナコトハアリマセナシダ、トコロガ今日ニナリマスト、人口モ漸ク四十萬、土地ノ開墾ト申シマシテモ十萬町足ラズト云フヤウナ北海道デアリマシタカラ、此議論ハ世ノ中ニ生ジテ居リマシタ、サリナガラ此頃ハマダ人口ニシマシテ云フヤウナコトハアリマセナシダ、トコロガ今日ニナリマスト、人口モ

百萬、耕地モ二十萬町步以上、百萬石ノ國ガ二箇國、百萬ト云フ縣ハ中以上ノ縣デアリマス、各地方ニ於キマシテモ此百萬以上ノ人口ノアル土地、又ト云フヤウナ地方費、所謂地方稅ヲ以テ處辨シテ行キマスルヤウナモノガアリマス、丁度今日ノ北海道ト云フモノモソレニ比較スベキモノニナツテ來マシタノデアリマスカラ、實際上最早北海道ニ一つノ地方議會ヲ開イテ之ニ負擔スベキダケノモノハ負擔サセテ、負擔スルダケノモノハ議サセナケレバナラヌト云フコトニナツテ來タノデアリマス、地方議會ニ於テ或ハ弊ヲ見ンカト云フ處レモアリマス、是ハ決シテ無イトハ言ハレマセヌ、サリナガラ利ノアルモノニ弊ノ添フノハ是ハ免カレマセヌ、利弊相伴フト云フコトハ是ハ數ノ免カレヌ所デアリマスカラ、其利ヲ取ツテ弊ヲ矯メテ引キマスレバ何モ差支ハアリマセヌ、又十年經畫ニ於キマシテハ内務大臣カラモ先刻縷々御述ニナリマシタガ、是ハ道路排水橋梁ダケノ費用ヲ十年經畫サレタモノノデ、其外ノモノハマダ今日ノ繼續費ニハナツテ居ラヌヤウニ此書面ヲ見マスト見エマス、此道路橋梁排水、是ナドニ於キマシテハ一年ニ百萬圓ヤソコラノ金ヲ費スノガ決シテ多額デハナイ、ソレヲ此度ノ此書面ヲ見マスルト、五十萬圓ソコノモノニナツテ居リマス、是等ノコトハ決シテ多額ナモノデハナイ、之ヲ施行シテ行ク所ニ於テハ人ノ澤山住ンデ居ル所カラシテ漸々ニ實施シテ行クト云フコトニナツテ居リマスカラ、是モ疑フコトハナイト思ヒマス、先刻谷將軍ヨリ御話ニナリマシタ道路ヲ開イテ其道路ノ跡ニ翌年ハ草ガ生エタリ木ガ生エタリスルト云フコトデアリマスガ、實際其通デ谷將軍ガ二十五年ニ御巡回ニナリマシタ時ニハ其通デアリマシタ、サウ云フ所カラシテ割出シテ鐵道經營ト云フコトニナリマシテ、政府ハ鐵道經營ニ力ヲ盡シテ今官設鐵道ヲ實施ニナツテ居リマス、是ガ即チ大骨、ソレニ添フタ所ノ小骨デアリマス、實際此殖民地ニ於キマシテ鐵道ニ從ヒ、之ニ次グモノハ道路排水ガ實地今日急ラ要スルモノデ、到ル所ニ之ニ對シテ苦情ヲ述べ者ハナイト云フ有様デゴザイマスカラ、ドウシテモ之ヲ打遣ツテ置クコトハ出來ナイ、是ガ事實ノ上カラシテ此問題ガ起ツテ來タノデアリマスカラ、私ハドコマデモ之ハ贊成ヲシマシテ此法案ガ成立ツコトヲ望ミマス、諸君ニ於キマシテモ十分御贊成ニナリマシテ一日モ早ク拓殖ノ實ノ舉ルコトヲ希望シマス

○穗積八束君 私ハ此案ニ附キマシテハ特別委員ノ一人デゴザイマスカラ、先刻ドナタカデアリマシタガ、兩三人ノ御方ハ此委

員ハ如何ニモ審査ガ粗漏デアッテ委員ノ付託ニ背イテ居ルカノ如ク御話ニナリマシタコトハ、特別委員ノ一人トシテ之ヲ聞イテハ黙シテハ居ラレマセヌノデアリマス、私共ノ委員ヲ御信用ニナツテ特別委員トシテ十分ニ調ベマシタノデゴザイマス、サウシテ先刻來ノ御質問ノ如キコトハ第三條ト云ヒ、ソレカラ議會ノ權限ノコト、云ヒ、法律ト豫算トノコト、云ヒ總テ是等ノコトハ委員ガ皆氣ガ附イテ質問モシ、討議モシタコトデアリマスガ、何モ耳新シイコトハ少シモナイノデアリマス、其他ノ事ニ附イテ御質問ガアレバ、幾ラデモ質問ヲ御出シニナレバ委員長副委員長ガ辯ゼラレヌナラバ……委員長副委員長ガアリマスカラ、私ハ默ツテ居リマシタガ、若モ委員ノ中誰デモ宜イ、答辯ヲシロト云フコトデアリマスナラバ、大體ノ經畫ノコトニ附キマシテハ、政府ガアリマスカラ私共委シイ計算等ノコトハ存ジマセヌガ、其外審査スルコトニ附キマシテハ及バズナガラ御答辯ヲ致シマスカラ、唯漠然ト特別委員ハ其職責ヲ盡サナカッタト云フヤウナコトハ御取消ヲ願ヒタインデアリマス、我より委員ノ面目ニ關係シマスカラ是ハ御取消ヲ願ヒタイ、サウシテ幾ラデモ御質問下サレバ十分答辯ヲ致シマス、此儀ヲ一應滿場諸君ニ申上グマシテ御反省ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員男爵園田安賢君（演壇ニ登ル）
○政府委員（男爵園田安賢君） 本案ニ附キマシテハ私ハ過日大體ノ説明ヲ致シテ置キマシタカラ多言ハ費シマセヌガ、尙ホ一言諸君ノ御参考ノタメニ御話ヲ致シタイト考ヘマス、且ツ北海道法案ノコトニ附キマシテハ諸君ノ間ニ多少ノ御異論者モアルト云フコトヲ承知致シテ居リマスガ、此拓殖上ノ經費ニ附キマシテ谷子爵ノ如キ有力ナル御方ガ反對ノ御意見デアルト云フコトハ……

〔男爵尾崎三良君「モウ少シ大キナ聲デ願ヒマス」ト述フ〕

誠ニ意外千萬ナルデゴザイマス、御承知ノ通我帝國ノ目下ノ狀況ハ如何ナル有様デゴザイマセウカ、諸君、人口ハ面積ニ充滿致シテ加フルニ年々四十萬以上ノ人口ガ增加致シテ居リマスル、從ツテ人力車夫不生產的ノ營業者ハ年一年增加致シテ、加フルニ財政ハ甚ダ困難デアッテ財源ヲ求ムルコトニ苦心慘

憺致シテ居ルト云フ有様デゴザイマセウ、故ニ北海道ノ拓殖事業ノ如キハ私ノ信ジマスル所ハ我帝國ノ事情最モ目下ノ急務デアルト信ジテ疑ハナイノデアリマス、遇日モ御話ヲ致シマシタガ、諸外國ノ有様ヲ見聞致シマスルニ、各々國前途ノ生存上ノコトヲ慮ツテ年々增加スル所ノ國民ヲシテ如何ニシタナラバ永遠安固ニ生活ヲ爲サシムルコトガ出來ヤウカト云フ心配カラ彼ノ阿非利加ノ熱帶地方マデ銳意開發ニ力ヲ致シテ移住民ヲ送ツテ居リマスル、彼等ガ目下ノ急務ニ努ムルト共ニ目前ノ趨勢ニ放任セズシテ國家生存上ノ根本ニ力ヲ致シテ居ル有様ハ實ニ私ハ敬服ニ堪ヘヌノデゴザイマスル、是等ノ有様、拓殖上ノ事情ヲ比較的ニ見マシタナラバ實ニ雲泥モ啻ナラヌ次第デアラウト信ジマスル、又地方行政上ノコトニ附キマシテモ過日縷々陳辯ヲ致シテ置キマシタガ、御承知ノ通北海道ハ未ダ地方經濟ナルモノナク、町村役場ノ經費ニ至ルマデ總テ之ヲ國庫ニ仰イデ居ルノデゴザイマスル故ニ、人民徒ニ國庫ニ依頼スルト云フ傾ニナツテ居リマシテ、獨立自營ノ思想ト云フモノハ甚ダ缺ケテ居ルノデゴザイマス、今日ノ制度ハ即チ獨立自營ノ精神ヲ沮喪セシムルト云フ制度デアルノデゴザイマスル、然ルニ諸君ガ此道會法ヲ設クト云フコトヲ御心配ナサイマスルノハ内地ノ町村ニ自治ノ制度ヲ施行致シマシタル結果ヲ御覽ナサレテ、北海道ノ前途ヲ御憂ヘ下サル譯ニアラウト思ヒマス、其點リマスガ、此法案ハ斯様ニ申シテ置キマス、特別委員長並ニ副委員長ノ御報告ハ極ク簡單ナモノデアッタト我ニハ承ッタト云フコトデ、其外ノコトハ取消シマシテモ宜シウゴザイマス

○政府委員男爵園田安賢君（演壇ニ登ル）
○政府委員（男爵園田安賢君） 本案ニ附キマシテハ私ハ過日大體ノ説明ヲ致シテ置キマシタカラ多言ハ費シマセヌガ、尙ホ一言諸君ノ御参考ノタメニ御話ヲ致シタイト考ヘマス、且ツ北海道法案ノコトニ附キマシテハ諸君ノ間ニ多少ノ御異論者モアルト云フコトヲ承知致シテ居リマスガ、此拓殖上ノ經費ニ附キマシテ谷子爵ノ如キ有力ナル御方ガ反對ノ御意見デアルト云フコトハ……

〔男爵尾崎三良君「モウ少シ大キナ聲デ願ヒマス」ト述フ〕

誠ニ意外千萬ナルデゴザイマス、御承知ノ通我帝國ノ目下ノ狀況ハ如何ナル有様デゴザイマセウカ、諸君、人口ハ面積ニ充滿致シテ加フルニ年々四十萬以上ノ人口ガ增加致シテ居リマスル、從ツテ人力車夫不生產的ノ營業者ハ年一年增加致シテ、加フルニ財政ハ甚ダ困難デアッテ財源ヲ求ムルコトニ苦心慘

ハ單ニ地方カラ徵收スル所ノ地方稅ニ附イテノ議決ヲサセルタメニ斯ウ云フ會議ヲ設ケル、斯ウ云フ御説明デアリ、又先日及今日ノ北海道廳長官ノ御説明ニ依ルト、サウデハナイ、自營ノ心ヲ養ヒ自治ノ政ヲ行フノガ此法案ノ目的デアル、斯ウ云フ御説明ノヤウニ聽取リマシタ、或ハ私ノ聽誤、リカモ知レ

マシタ、ソレハドウ云フ御都合アリマスカ、假ニ内務大臣ノ御説ノ如ク自

治ヲ北海道ニ與ヘル目的デハナイ、地方税ト云フ制度ヲ設ケルニ附イテノ機
關ガ必要デアルカラ議會制度ヲ設ケルト云フコトナラバ、内地ノ地方税規則

ト云フモノガ行レタノハ私ハ府縣會規則ヨリ早カッタデアラウト思フ、地方
税規則ガ前キニ行レテ後ニ府縣會規則ト云フモノガ行レタ、府縣會ト云フモ
ノガ必シモ地方税ヲ取ルト云フコトニ絶對的ニ必要デアル法律上必要デアル

ト云フコトハドウモ出テ來ヌヤウニ思フ、今一ツハ臺灣ノハドウデアルカ、
是ハ選舉ニ基イタ議會ニ依ツテ地方税ノ徵收ニ參與セシメテ居ルヤ否ヤ、此三
ツノ點ヲ伺ヒマス

〔國務大臣男爵末松謙澄君演壇ニ登ル〕

○國務大臣（男爵末松謙澄君）唯今都筑君カラノ御尋ニ、私ノ答辯ト北海道
長官ノ答辯ト違ヒハシナイカ、私ハ地方税ヲ取ルコトヲ目的ト云ヒ、一方ハ自
治自營ヲ目的トスルト云フヤウニ言ウタノデハナイカト云フコトデアリマシ
タガ、是ハ澤山矛盾シテハ居ラヌト思フ、片一方ノハ言葉ニ重キヲ置イタノ
デ、雙方ニ分レタヤウニ御解釋ニナルト少シク違フト思フ、即チ北海道デ彼ノ
土地ニ立テ取立テサウシテ其處ノ經濟ヲ爲スト云フ方法ガ附クコトハ即チ一
面カラ云ヘバ、是ハ自營デアリマス、一面カラ言ヘバ其タメニ地方税ヲ取立テ
ルコトデアリマスカラ、其間ニ議論ヲ挾ミ強テ議論ヲ求メルコトデナカラウ
ト考ヘル、ソレカラモウ一ツハ今ノ御尋ノ主意ハ議會ガナクテモ地方税規則
ヲ行ツテ取レハシナイカト云フコトノヤウニ思ヒマス、成ル程内地ニ於キマシ
テハ段々沿革ヲ經テ而シテ今日ノ府縣制ト云フコトマデニナッテ來タト云フ
コトハアリマスル、併シ今日此法ヲ以テ直ニ北海道ニ行フト云フコトハ餘程
ムツカシイノデアル、今日ニ於キマシテハ國家ノ收入ニ附イテハ帝國議會ガ
アル、各地方ニハ府縣會ヲ開イテ地方ノ收入支出ヲ議スルト云フヤウナ所ニ
於キマシテ、此北海道ニ今更唯地方税ヲ取立テルタメニ規則ダケヲ据エテ人
民ノ代表者ナクシテヤルト云フコトハ監督上其他一般ノ行政上ニ於テ今日ハ
出來ナイコトデアラウト考ヘラレマス、故ニソレハ政府ハ探ラザル次第デア
リマスノデゴザイマス、而シテ臺灣ハドウデアルカト云フコトデゴザイマス
ガ、臺灣ハ一種特別ノ事情ノコトガアリマスカラ、臺灣ヲ以テ直ニ北海道ヲ
擬スル譯ニハ行カヌト私ハ考ヘテ居ル次第デアリマス、是ダケヲチヨット申上
ゲテ置キマス

○男爵加藤弘之君 私ハ北海道ノコトハ極ク素人デアリマスガ、一體私ハ反

對說ノ積デアツタノデアリマスガ尙ホ……

〔「演壇ヘ」ト呼フ者アリ〕

〔男爵加藤弘之君演壇ニ登ル〕

○男爵加藤弘之君 私ハ反對說デ尙ホ早シト云フヤウナ說デアリマシタ、內
務大臣ノ演說ヤソレカラ委シイ所ノ北垣男爵ノ演說ヲ聽イテ見、尙ホ其外ノ
演說ヲ聽イテ見ルト贊成ヲスベキ考ニナツタ、ソレデ谷子爵ノ御説ナドニ
ハ、諸方カラ人間ガ寄ツテ來ルノデアル、サウ云フ者ヲ寄セテ議會ヲ造ルト
キニハ纏ツタ事ハ出來ズシテ、各自ガ自分ノ利益ヲ圖ルト云フヤウナコトニナ
ルト云フコトデアリマシタガ、サウ云フコトモ自ラアル、東京ナドニ既ニ其

弊ガアル、東京ハ隨分諸方カラ寄ツテ居ルノデアルカラ外ノ土著ノ者ノ多イ
所ノヤウニハ其地ノ利益ヲ圖ラズシテ各自ノ利益ヲ圖ルト云フヤウナ弊ガ
アル、アルケレドモソレヲ心配シテイツマデモ議會ヲ開カヌト云フコトハ決
シテ私ハ出來ナイコトデアラウト思フ、北海道ニ是カラ此内地ノ地方、諸所
方々カラ人ガ集ツテ行クト云フコトハマダ隨分長イ間ノコトデアル、此内地
カラ移住スルト云フコトガ止ムト云フ時節ハ容易ナコトデナカラウ、サウシ
テ見ルト其間ハ議會ヲ開イテハ行カヌト云フ道理ニナル、サウ云フコトハ逆
モムツカシイコトデアラウト思フ、デ北垣男爵ノ言ハレル通ニソレモ即チ利
ト弊ガアル、利モアル弊モ必ズアルノデアリマスガ、先ツ巧ニ利ヲ取ッテ弊
ヲ避ケルト云フコトヲ成ルタケ考ヘルヨリ他ニ仕様ガ無イ、ソレカラ内務大
臣ノ言ハレタ通ニ、モウ北海道ノ人民モ譬ヘテ言ヘバ成年ニ近クナツテ居ル、
隨分金持モ出來タリ裕福ニナツテ居ル、土地ガ元來裕福ニモナツテ來タ、既ニ
一個人ヂ言ヘバ成年ニ近イ所ニナツテ居ルノデアルカラ、サウ云フ者ニ内地
カラ隨分嚴シク取上ゲル所ノ稅ヲ用ヒテ、サウシテサウ云フ立派ニ獨立ノナ
ルベキ人間ライツマデモ養フト云フコトハ道理ノナイコトデアル、ソレモ少
シク補助スルト云フ位ナラバ宜シイデアリマスケレドモ、殆ド内地カラ養
テ居ルト云フヤウナ理窟デアル、サウ云フコトハ餘程道理ニ今日デハ背イタ
モノデアラウト思フ、ソレカラ北海道ニハ隨分長官ニ餘程不都合ガアルト云
フコトハ度々以前カラ新聞ナドニ出テ居ル、ソレハ私ナドハ唯新聞ニ見テ居
ルバカリデ本當ノコトハ分リマセヌガ、新聞ノ書クコトハ隨分針小棒大ニ
書クコトガ多イカラ決シテ新聞ノ書クコトヲ悉クハ信ジマセヌ、併ナガラ
此惡口ナドハ多イ、唯今長官ガ演說サレタガ此園田君ノ惡口ナドハ中々盛
ニ出テ居ル、ソレハ私ハ信ジマセヌケレドモ……サウ云フ事ト云フモノハ

成ルタケ防グ途ヲ付ケルガ宜イ、防グ道具ト云フモノヲ用ヒテ、ソレガ實際アルコトナラ尙ホ更、實際惡ルイ事ガアルナラ尙ホ更、ドウカソレノ防

ゲル道具ヲ捨ヘル方ガ宜カラウ、ナイナラバソレハ不要ノヤウデハアリマスガ、サウ云フ弊ヲ防グ道具ガアレバ自ラナイコトナラ評判モ立タヌト云

フコトニナル、其處デ今マデ町村議會ハアッテソレデ多少町村ダケノコトハ宜ウゴザイマシタガ、一體ノ全道ニ附イテ即チ總テノ北海道ニ附イテノ議

會ト云フモノハナイノデアリマスカラ、餘程議會ノ權力ト云フモノモ少サイモノデアル、ソレガ今日初メテ道會ト云フモノガ出來レバ、此權限ハ此案デ誠ニマダ輕イモノデアリマスケレドモ、併シ兎ニ角一ツノ道會ト云フモノガ

出來ルコトデアルカラ、其長官ト云フ者ニ萬一失政ノアルト云フコトモ幾分カ防グコトガ出來ル、ナイニ勝ルコトハ大ナルコトデアラウト思フノデアリマス、サウ云フ所カラ考ヘテ見ルト、ドウモ今日ニ於テハモウアル方ガ宜カラウ、則チ尙ホ早シト云フコトデハナカラウ、サウシテ北垣男爵ノ言ハレタ通

ニ此北海道ノ發達ト云フモノハ今日ハ餘程ナ進歩ヲシテ居ルノデアリマスルカラ、今日デモ此進歩ニ應ズル途ヲ附ケヌガ宜シトイ云フヤウナコトデアル

ナラバ、是カラマダ五年經テモ矢張サウ云フ運ビヲ著ケルコトハムヅカシイト云フ議論ハ幾ラモ立タウト思フ、サウ云フ北海道ノ事ニ委シ

イ諸君ノ御話、並ニ當局者ノ御話ナドヲ聽イテ見マスルト、私ナドハマルデ素人デアリマスケレドモ、ドウモ今日既ニ道會ヲ立テタガ宜カラウト思フ、

唯今マデハ尙ホ早シト云フヤウニ感ジテ居タノデアリマスケレドモ、能ク聽イテ見ルト其方が宜カラウト思フト云フ所カラ、十分ニ賛成ノ意見ヲ表スルノデアリマス

〔男爵尾崎三良君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵近衛篤麿君) 尾崎男爵ハ何デスカ

○男爵尾崎三良君 私ハ賛成ヲ致シマスニ附イテ、少シバカリ賛成ノ意見ヲ述ベタウゴザイマス

○議長(公爵近衛篤麿君) ソレデハ休憩ヲ致シマス

午後零時三分休憩

午後一時九分開議

○議長(公爵近衛篤麿君) 報告致シマス

〔小原書記官朗讀〕

今二十三日議員伯爵島津忠亮君ヨリ三十一名ノ賛成ヲ以テ外交ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ

本日政府ヨリ左ノ通牒ヲ受領セリ

明治三十四年三月二十三日

内閣總理大臣侯爵伊藤博文 貴族院議員子爵谷干城君外一名提出足尾銅山鑑毒事件ニ關スル質問

貴族院議員子爵谷干城君外一名提出足尾銅山鑑毒事件ニ關スル質問書ニ對スル答辯書

貴族院議長公爵近衛篤麿殿

貴族院議員子爵谷干城君外一名提出足尾銅山鑑毒事件ニ關スル質問書ニ對スル答辯書

〔參照〕

足尾銅山鑑毒事件ニ關スル質問書

一 足尾銅山鑑毒ノ豫防並貢瀬川沿岸被害地ノ處分ニ付テハ政府ハ去ル明治三十年ノ豫防設備

及免租ヲ以テ充分ノ救濟方法ヲ盡シタルモノト爲ス平

二 豫防設備ニシテ充分防毒ノ效果アリ被害地ニ關スル處分免租ヲ以テ足レリトセハ人民其ノ堵

ニ安ンスヘキ害ナルニ依然トシテ被害ノ慘狀ヲ訴ヘ救濟ノ請願ヲ爲スハ如何政府ハ之ヲ以テ

被害ノ事實アリ認メサル乎

三 政府ニ於テ被害ノ事實アリトセハ何故ニ今日ニ至ルマテ人民ノ請願ヲ不聞ニ付スル乎

四 政府ニ於テ未タ被害ノ事實ヲ詳ニセス又ハ救濟方法ヲ講究スヘキモノトセハ何故ニ今日ニ至

ルマテ相當ノ機關ヲ設ケ之ヲ調査セシメサル乎

右議院法第四十八條ニ依リ提出候也

明治三十四年三月十九日

提出者 子爵谷 干城 賛成者 伯爵萬里小路通房 外二十九名

農商務大臣 林 有造

内務大臣 文學博士末松謙澄

貴族院議員子爵谷干城君外二名提出官紀ニ關スル質問ニ對シ別紙司法大臣答辯書及御回付候也

明治三十四年三月二十三日

内閣總理大臣侯爵伊藤博文

貴族院議長公爵近衛篤麿殿

貴族院議員子爵谷干城君外二名提出官紀ニ關スル質問ニ對シ別紙司法大臣答辯書差進候也

明治三十四年三月二十二日

司法大臣男爵金子堅太郎

貴族院議長公爵近衛篤麿殿

衆議院ニ於テ削除シタル豫算ノ復活ニ關シ司法官ノ爲シタル行動ニ付テ
右及答辯候也

明治三十四年三月二十二日

司法大臣男爵金子堅太郎

〔參照〕

官紀ニ關スル質問書

明治三十四年度豫算案中衆議院ニ於テ削除シタル司法官増俸額ニ關シ多數ノ司法官ハ其ノ復活ナ
圖ラシカ爲相結シテ意見書ナ發シ又ハ各議員ヲ訪問ス是官紀上不間ニ付スルヲ得サル所ニシテ其
責任ヲ明ニセサル可ラス政府ハ之ニ對シテ如何ナル措置ヲ取ルヤ
右議院法第四十八條ニ依リ提出候也

明治三十四年三月十九日

提出者 男爵 松平 正直
贊成者 公爵 二條 基弘
外九十七名

委員長及副委員長左ノ適當選セラレタリ

明治三十二年度豫備金支出ノ件外二件承諾ヲ求ムルノ件特別委員會

委員長 侯爵細川 護成君 副委員長 子爵伏原 宣足君

○議長（公爵近衛篤麿君） 是ヨリ午前ニ引續イテ會議ヲ開キマス

○高橋喜惣治君 発言ノ許可ヲ求ム

○議長（公爵近衛篤麿君） 高橋君ハ何デスカ

○高橋喜惣治君 討論終結ノ動議ヲ提出致シマス

〔賛成ト呼フ者數名アリ〕

○田中芳男君 チヨット此案ニ附イテ質問ガ致シタウゴザイマスガ、宜シウゴ
ザイマスカ

○議長（公爵近衛篤麿君） 宜シウゴザイマス

○田中芳男君 此案ニ附キマシテハ選舉權モ被選舉權モ皆土地ト云フモノヲ
所有シテ居ルカラ起ルト考ヘマスガ、其土地ト云フモノハ唯不毛ナ土地デハ
ナイ、必ズ此處ニ在リマス通耕地トカ宅地トカ海產干場ト云フモノヲ土地ト
云フテ居リマス、然ルトキハ北海道ノ選舉權被選舉權ヲ有スル者ハソレ等ノ
土地ヲ持ツテ居レバ、ソレ等ノ權利ヲ得ラル、コトニナツテ居ル、然ルニ北海

道ノ土地ハ從前ハ樹木ハ蕃殖シテ居リマシタカラ拓殖ト云フコトハ樹木ヲ
伐ルコトガ拓殖ノヤウニナツテ居リマシタガ、今日ニナツテ見レバ最早樹木ハ
伐盡シテ、是カラ殖林事業ヲ起サヌケレバナラヌト云フ所ガ往々アル、然ラバ
ウニ考ヘマスガ、サウ云フ御主意デアリマスカ、殖林事業ト云フモノハ北海道
デハソレ等ノ事業ヲ致ス所ノ土地ノ所有者ハ決シテ其權利ヲ有スペキモノデ
ナイト、斯ウ云フ譯ニナツテ居リマスガ、詰リ殖林事業ト云フモノハ北海道デ
ハ必要ト考ヘマスガ、是ハ如何ナ理由デアリマスカ、其事ヲチヨット伺ヒマス

〔政府委員白仁武君演壇ニ登ル〕

○政府委員（白仁武君） 唯今ノ御尋ニ御答ヲ致シマスガ、御尋ノ通ニ此土地

ハ田畠、海產干場ダケヲ指ス積デゴザイマス、而シテ山林ハ成ル程唯今ノ御
話ノ通ニ北海道ニ於キマシテモ最早所ニ依リマシテハ大ニ植樹ノ必要ヲ感ジ
テ居リマス、併ナガラ此山林事業ト云フモノハ北海道ニ於テ未ダ十分ノ經驗
ヲ積ミマセヌ、從ツテ其事業モ愈、確ナモノデアルカ如何ト云フコトニ附キマ

シテハ、田畠海產干場ノ値打ニ比較シテ見マスレバ稍不安ノ念ガアリマス、
依テ此土地所有ノ資格ヲ證議致シマスルニ際シマシテ山林ノ部分ハ削除致シ
マシタ譯デアリマス

○田中芳男君 尚ホ一言御尋致シマス、成ル程唯今ノ如ク御拂下ニナリマシ
タ土地ノ樹木ノアリマスルモノヲ所有致シマシタ者ハ是ハ己ガ擁ヘタ森林デ
アリマセヌ故ニソレ等ハ必要ト認メマセヌガ、是カラ必要ヲ認メテ追々育テ
ナケレバナラスト云フコトガ最早起ルヤウニナツテ居リマス、然ルニ此法律デ
見マスルト、殖林事業ハ幾ラ致シテモ選舉權被選舉權ハ得ラレヌコトニナリ
マスガ、是等ノコトニ附キマテハ誠ニ遺憾ナコト、考ヘマス故ニ唯今御尋致
シマシタ、シテ見マスルト先づ此殖林事業ト云フモノハ北海道デハ不必要ダ、
ソレ故ニサウ云フコトヲ致ス者ハ選舉權被選舉權ヲ得ラレヌ、詰リ不必要視
シテ居ル譯ノ法案デアリマスカ、ソレヲ一應伺ヒマス

○政府委員（白仁武君） 御答致シマス、不必要ト見タ譯デハ決シテアリマセ
ヌ、甚ダ此節ハ必要ヲ感ジテ居リマス、併シ先刻申上グマス通ニ北海道ノ山
林事業ガ果シテ水田ヤ或ハ畑ノ如ク愈、確ナモノデアルカ如何ト云フコトハ
未ダ經驗ヲ積ミマセヌカラ十分ナ信用ヲ置クコトガ出來マセヌ、ソレ故ニ造
シテ居ル譯ノ法案デアリマスカ、ソレヲ一應伺ヒマス

財產トシテ見マスル點ニ於テ田畠ト並ビ考ヘルコトガ、マダ出來マセヌノデゴザイマス、ソレ故ニ本法案ヲ立法致シマスル際ニハ山林ハ土地ノ部類カラ引去ツタ譯デゴザンス

○男爵尾崎三良君 本員ハ此案ニ賛成ヲ致シマスガ、別段ニ深イ議論モアリマセヌガ、詰リ先刻カラ反対者ノ御説ヲ承リマスレバ、何分此特別委員長ノ報告ガ不十分デアリ審査ヲシテ居ラナイモノデアル、ソレダカラ勿卒ニ斯ノ如キモノヲ今日議了スルニハ及バナイ、斯ウ云フ御説ガ多イヤウニ思ヒマスノデ、然ル所ガ其委員中ノ一人ナル穗積八束君ナドハ委員一人トシテ十分ニ審査ヲ遂ゲ、疑義ノアル所ハ飽クマデモ質問シテ是デ十分ナリトシテ報告シタノデアル、私ハサウアラウト考ヘテ居ル、又サウアルベキ筈デアラウト思ッテ居ル、此説ヲ信ジマシテ速ニ議了ニナランコトヲ希望致スノデアリマス、或ハ又簡條ニ附イテ多少ノ修正意見ヲ持ツテ居ル人ガアルカ知レマセヌガ、ソレハ兎ニ角ニ讀會ニ移ツテ、各條ノ審議ノ時ニ御取極ニナツタナラバ宜カラウト本員ハ考ヘマス、唯本員ノ之ヲ賛成スル所以ト云フモノハ北海道ノ議會ノ必要ガアルト云フコトハ、モウ四五年前カラ彼ノ土地ノ人民カラ請願ヲ致シテ、我シノ手許ニモ毎々參ツテ居リマス、然ル所ガマダ幼稚デアルカラ其場合ニ至ラヌトスウ云フマアコトデ延ビテ居ッタ考ヘマスガ、既ニ昨年北海道ヨリモ帝國議會ノ議員ヲ選ブト云フコトニモナツタコトデアリマスル以上ハ、最早今日ニ於テ地方自治ノ法律ヲ許サヌスト云フ理由ハ今日ハナカラウト思ヒマスルデ、速ニ是ハ議決ニナツテモ宜カラウト思フ、唯其私共ノ憂ヘル所ハ先刻來反対ノ御方シハソレバ團體ニ於テ有力ノ御方ガ反対ニナルニ依ツテ或ハ未ダ是ハ審議ガナイニ依ツテ、絕對ノ反対デモナイケレドモ、マアノ延バシテ置テモ宜カラウト云フヤウナ御考デ、自然是ガ否決ニナルト云フヤウナコトニナツテハ甚ダ遺憾ト存ジマスルカラ、兎ニ角是ハ二讀會ニ移シテ十分ニ審議ヲ遂ゲラルコトヲ希望致シマスルノデス、モウ格別深イ理由ハナインデアリマスカラ、ソレダケノコトヲ……

○男爵西五辻文仲君 演説ノ通告者ガゴザイマスカ

○議長(公爵近衛篤麿君) アリマセヌ

〔賛成ト呼フ者多シ〕
○男爵西五辻文仲君 ソレデハ討論終局ノ動議ヲ提出致シマス

○議長(公爵近衛篤麿君) 討論ハモウ自然ニ終局シタモノト思ヒマス、ソレデハ第二讀會ニ移ルヤ否ヤノ決ヲ採リマス、此採決ニハ無記名投票ニ依ルベ

シト云フ請求ガアリマス、本案ヲ第二讀會ニ移スペシトスル諸君ハ白イ球、反對ノ諸君ハ黒イ球ヲ御入ニナルヤウニ……名刺ハ御忘ニナラヌヤウニ願ヒマス、是ヨリ氏名點呼ヲ行ヒマス

〔無記名投票執行〕

〔氏名點呼ヲ行フ〕

〔書記官投票ヲ計算ス〕

○議長(公爵近衛篤麿君) 無記名投票ノ結果ヲ御報道致シマス、出席總數二百十九人、白球ヲ投ジタル者即チ第二讀會ニ移スペシトスル者百四十三人、二讀會ニ移スベカラズトスル者即チ黒球ヲ投ジタル者七十六人、即チ是ハ二讀會ニ移スベシト決シマス

○男爵尾崎三良君 直ニ二讀會ヲ開カレンコトヲ希望致シマス
〔賛成ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤麿君) 御異議ガナケレバ第二讀會ニ移リマス、全部ヲ問題ニ供シマス

○議長(公爵近衛篤麿君) 御異議ガナケレバ原案ニ決シマス

○議長(公爵近衛篤麿君) 是デ第二讀會ハ終リマシタ

○男爵中川興長君 直ニ第三讀會ヲ開カレンコトヲ希望致シマス

〔賛成ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤麿君) 御異議ガナケレバ第三讀會ニ移リマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤麿君) 御異議ガナケレバ原案ニ決シマス、次ハ北海道地方費法案、是ノ採決ヲシマス、谷森君ニ確メテ置キマスガ、是モ無記名投票ニ依リマスカ、ソレニハ及ビマセヌカ

○谷森眞男君 ソレニハ及ビマセヌ

〔賛成ト呼フ者多シ〕
○松本鼎君 本案ハ讀會省略ヲ以テ決セラレントコトヲ希望致シマス

○議長(公爵近衛篤麿君) 讀會省略ノ動議ニ十名以上ノ賛成ガアツタト認メ

起立者 多数

○議長（公爵近衛篤麿君）三分ノ二以上ト認メマス、讀會ハ省略サレマシタ、
本案御異議ガナケレバ原案ニ決シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者多シ

○子爵谷干城君 是ヨリ豫算委員會ヲ開キタイト思ヒマス、サウシテ決了次
第今夕デモ報告シタイヤウニ思ヒマス、最早日ガ詰テ居リマスカラ……

○議長（公爵近衛篤麿君）谷子爵ノ發議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者多シ

〔子爵谷干城君〕ソレナラ豫算委員ノ御方ハ談話室へ御集リト願ヒマ
ス」ト述フ

○子爵曾我祐準君 本員ハ此際議事日程ノ變更ヲ請求致シマス、餘日モゴザ
イマセヌニ依テ委員ニ付セラルベキモノハ此際委員ニ付セラレンコトヲ希
望スルノデアリマス、ソレ故ニ第十一、永代借地權ニ關スル法律案ト第十三ノ
生絲検査所法中改正法律案、是ト日程ニハ載テ居リマセヌガ、鐵道敷設法中
改正法律案、此三案及衆議院提出ノ瀆職法案ト云フモノヲ此間ニ委員ニ付託
相成リタイヤウニ考ヘマス、ドウゾ諸君御賛成ヲ願ヒマス

〔賛成〕ト呼フ者多シ

○議長（公爵近衛篤麿君）唯今曾我子爵カラ御話ノアリマシタ生絲検査所法
中改正法律案ハ内閣ヨリ議院法二十八條ノ但書ニ依テ委員ニ付託セズシテ
決議シテ欲シイト云フ要求ガアリマシタカラ其通致シマス

○子爵曾我祐準君 然ラバ唯今ノ四案ノ中、ソレヲ取除クコトニ致シマス

○議長（公爵近衛篤麿君）ソレカラ瀆職法案、是ハ衆議院提出法案デゴザイ
マス、政府提出案ノ間ニ之ヲ挾ムニ附イテハ政府ノ同意ヲ得ナケレバナラヌ
ノデアリマス……政府ノ同意ガアリマシタカラ曾我子爵ノ動議ノ通ニ此間ニ
挾ムコトニ致シマス

○伯爵大原重朝君 二十ガ脱ケテ居リマスカラ、曾我君ノ發議ノ中ニ加ヘテ
戴キタインデアリマス、社寺上地林處分法案ガアナタノ御申立ノ中ニ洩レテ
居リマシタカラ……

○子爵曾我祐準君 本員ノ申シマシタノハ政府案ナルガ故ニ、第十一ト十三
トハ前ニ舉ゲタノデアリマス、本員ハ瀆職法案ヲ至急ニ委員ニ付託スルコト
ヲ希望スルノガ精神デアリマス、唯今ノ第二十八衆議院ノ提出デアリマスカ
ラ本員ハ別ニ繰上ゲル請求ハ致シマセヌノデアリマス

○議長（公爵近衛篤麿君）ソレデハ永代借地權ニ關スル法律案並鐵道敷設法
中改正法律案、瀆職法案、第一讀會

永代借地權ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
候也

明治三十四年三月二十二日 貴族院議長公爵近衛篤麿殿

衆議院議長片岡健吉

第一條 政府ノ永代借地券ヲ以テ外國人又ハ外國法人ノ爲ニ設定シタル永
代借地權ハ之ヲ物權トシ民法中所有權ニ關スル規定ヲ準用ス

永代借地權ハ民法ノ規定ニ從ヒ他ノ權利ノ目的タルコトヲ得
地券條約又ハ法令ニ別段ノ定メアル場合ニハ前二項ノ規定ヲ適用セス
第二條 永代借地權ノ移轉アリタルトキハ其ノ土地ノ所在地ヲ管轄スル地
方廳ニ於テ地券ニ其ノ旨ヲ記載スルニ非ナレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗ス
ルコトヲ得ス

第三條 永代借地權又ハ之ヲ目的トスル權利ニ關スル登記ニ付テハ登錄稅
ヲ課セス

第四條 永代借地權又ハ之ヲ目的トスル權利ニ關スル登記及永代借地ノ上
ニ存スル建物ニ關スル登記ニ付テハ勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコト
ヲ得

附 則

第五條 本法ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第六條 民法施行法第四十五條ノ規定ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第七條 永代借地權又ハ之ヲ目的トスル權利ヲ本法施行前ニ地上權又ハ之
ヲ目的トスル權利トシテ登記セラレタルモノハ永代借地權又ハ之ヲ目的
トスル權利トシテ登記セラレタルモノト同一ノ效力ヲ有ス

鐵道敷設法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
明治三十四年三月二十二日 衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤麿殿

第九條中「金六千萬圓」ヲ「金九千五百萬圓」ニ改メ「明治二十六年度ヨリ十二箇年間ニ」ヲ削ル

濱職法案

右本院提出案及送付候也

明治三十四年三月二十二日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤麿殿

濱職法

第一條 法令ニ依リ選舉又ハ任用シタル議員、會員、委員又ハ總代其ノ職務ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許若ハ要求シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二條 前條ニ記載シタル賄賂已ニ收受シタル者ハ之ヲ沒收シ費用シタル者ハ其ノ價ヲ追徴ス

○議長(公爵近衛篤麿君) 特別委員ノ選舉ニ移リマス、此三ツノ特別委員ノ選舉デゴザイマスガ、是ハ議長ノ指名デ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤麿君) ソレデハ直ニ指名致シマス

〔太田書記官長朗讀〕

永代借地權ニ關スル法律案特別委員

子爵岡部長職君 三好退藏君 村田保君

男爵金子有卿君 富田鐵之助君 都筑馨六君

安廣伴一郎君 一木喜德郎君 山田卓介君

伯爵大村純雄君 子爵曾我祐準君

子爵内藤政共君 辻新次君 男爵鍋島幹君

男爵本多副元君 男爵毛利五郎君 中山文樹君

濱職法案特別委員

侯爵黒田長成君 伯爵上杉茂憲君 子爵大田原一清君

子爵高木正善君 男爵本田親雄君 濱尾新君

三浦安君 久保田讓君 野崎武吉郎君

○議長(公爵近衛篤麿君) 唯今ノ濱職法案ノ中御手許ヘ回シテ居リマス 議案

ニ少シ誤ガアリマス、第一條ノ次ニ「賄賂ヲ贈與、提供又ハ約束シタル者亦同シ」ト云フ一項ガ抜ケテ居リマス、是ハ印刷ノ誤デアリマスカラ左様御承知ヲ願ヒマス、屯田兵及屯田兵村ニ給與シタル土地ノ登録税免除ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

屯田兵及屯田兵村ニ給與シタル土地ノ登録税免除ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十四年三月二十二日

右特別委員長

伯爵島津忠亮

貴族院議長公爵近衛篤麿殿

〔伯爵島津忠亮君演説ニ登ル〕

○伯爵島津忠亮君 屯田兵及屯田兵村ニ給與シタル土地ノ登録税免除ニ關スル法律案ハ、昨朝特別委員會ヲ開キマシテ、此案ニ於キマシテハ極簡單ナ案

デアリマシテ、何ノ異議モナク全會一致デ可決致シマシタ、固ヨリ此案ヲ提出サレマシタ精神ト云フモノハ、普通ノ移住民ガ北海道未開地處分法ニ依ッテ付與ヲ受ケタル土地等ノモノハ皆免除サレテ居ルノデアリマスカラ、ソレデ屯田兵及屯田兵村ニ於テモ同様ニアリマセヌト權衡ヲ保チマセヌカラ、ソレデ同様ニ致シタイト云フノ精神デ、極簡單ナ案デアリマス、ソレデドウカ讀會省略ニナリマシテ速ニ可決ニナランコトヲ……

○伯爵大原重朝君 讀會省略ニ賛成

〔贊成ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤麿君) 島津伯爵ヨリ讀會省略ノ動議ガ出テ十名以上ノ贊成ガアルト認メマス、之ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤麿君) 三分ノニ以上ト認メマス、讀會省略ニナリマシタ、本案御異議ガナクバ原案ニ決シマス

○議長(公爵近衛篤麿君) 登錄税法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

登錄税法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十四年三月二十二日

右特別委員長
伯爵 島津 忠亮

○議長(公爵近衛篤麿君) 次ハ印紙稅法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告告
タ、本案御異議ガナクバ原案ニ決シマス

貴族院議長公爵近衛篤麿殿

〔伯爵島津忠亮君演壇ニ登ル〕

○伯爵島津忠亮君　此案ニ於キマシテモ前案ト同一委員ニ付セラレマシタニ附イテ昨朝同時ニ開キマシタ、是ハ政府カラ提出セラレマシタノハ此黒字ノ

「第二條第一項第二十二號及第三條第一項第十一號ニ各左ノ但書ヲ加フ」ト云フノデアリマスガ、極簡單デアリマスガ、之ニ衆議院デ改正ヲ加ヘマシテ

「第一條第一項第二十一號及第二十二號ヲ左ノ如ク改ム」トシテ茲ニ現行法ノ

「二十一、附記登記、不動產每一箇、金十錢」ト云フノヲ入レマシタノデアリマス、是ハ現行法ト異ッタコトハアリマセヌガ、二十錢ト云フノヲ十錢ニ減ラシマシタノデ、ソレカラ但書ヲソレニ加ヘマシテ黒字ノ通ノ但書ヲ加ヘマ

シタ、ソレカラアトハソコニ「二十二、登記ノ更正變更又ハ抹消、不動產每一箇、金十錢」、是ハ現行法ノ儘デアリマシテ、ソレニ又前ト同一ノ但書ヲ加ヘマシタ、ソレカラ第三條ノアトニ政府案デハ第一項第十一號ガアリマスガ、ソコノ政府案ノ十一號ハ十五ニ下リマシテ其間ニ四ツ程更ニ加入致シタノ

デ、ソレガ即チ十一、十二、十三、十四ノ四ツデアリマス、是ハ矢張其是マデノ所デハ一物每二十錢ヲ加ヘルトアッタノデアリマスガ、サウナツテ來ルト大變筆數ガ多クナリマスニ從ッテ負擔額ガ多クナツテ人民ノ苦情

モアリマシタニ依ッテ、是ハ三箇マデハ十錢宛取ルガ三十錢ヲ超過スルト其以上ニナレバ十箇ニナツテモ二十箇ニナツテモ一件ニアルモノハ悉ク三十錢トスルト云フコトニナリマシタ、ソレデ是ニハ此結果幾ラカ政府ノ收入ガ減ルデアラウト云フコトヲ質問ニ及ビマシタレバ、政府委員ノ答ニ此改正ニ依ッテハ政府ノ收入ノ減額ハ一箇年凡ソ十七八万圓モアラウカ、併ナガラ印紙稅改正ニ附イテ其增收スル額ヲ以テ之ヲ補フコトガ出來ルダラウト云フ答辯デアリマス、別ニ申上ダル程ノコトハアリマセヌ、ドウカ是モ讀會省略ニナリマシテ……

○伯爵大原重朝君　讀會省略ニ賛成

〔讀會省略ニ賛成」ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤麿君)　讀會省略ノ動議八十名以上ノ賛成ガアルト認メマス、之ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者　多數

○議長(公爵近衛篤麿君)　三分ノ二以上ト認メマス、讀會ハ省略ニナリマシタ、本案御異議ガナクバ原案ニ決シマス

印紙稅法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十四年三月二十二日

右特別委員長
伯爵 日野 資秀

貴族院議長公爵近衛篤麿殿

〔伯爵日野資秀君演壇ニ登ル〕

○伯爵日野資秀君　今般政府ヨリ提出サレマシテ衆議院デ可決シテ當院へ送ラレタル印紙稅法中改正法律案ニ附キマシテ特別委員會ノ經過並ニ結果ノ大體ノ模様ヲ御報告致シマス、委員互選ノ結果トシテ委員長ニ私、又副委員長ニ

郷純造君ガ當選サレマシタ、昨日委員會ヲ開キマシテ各委員審議ノ末、本案ハ目下我邦ノ時宜ニ適スルモノト認メマシテ出席委員ノ全會一致ヲ以テ政府案ノ通決定致シタ次第ゴザイマス、就キマシテハ極簡短ニ其理由ヲ一言申述ベテ置キマス、既ニ諸君モ御承知ノ通前年ノ議會デ印紙稅法ノコトニ附キマシテ、衆議院ト貴族院ト意見ヲ異ニシタ點ガアリマス、其結果兩院協議會ヲ開クト云フコトデ、御互ニ譲り合ッタ末、終ニ一種奇妙ナ法律ガ出來タ、ソレハ何カト云フト、即チ現行法ノ第三條デアル、此第三條ハ何カト云フニ約束手形並ニ爲替手形五圓以上、ソレカラ二千圓未滿ノモノハ二錢ノ印紙ヲ貼ル、ソレカラ二千圓以上ノモノニハ十錢ノ印紙ヲ貼ル、斯ウ云フコトデアル、僅二千圓以上ト以下デハ大キナ稅率ニ差ガアル、即チ二錢ト十錢ノ差ガアル、ソレデ之ヲ改正シテ新ニ第四條中ニ爲替手形印紙稅二錢、約束手形印紙稅二錢、斯ウ云フ稅率ヲ均ニシヤウト云フコトデ、今度改正ニナックタ譯デアリマス、從テ第三條ハ削除ニナルハ當リ前、ドウモ稅率ハ今マデノ所ハ甚ダ不權衡ナ稅率デアッタ、啻ニ不權衡ノミナラズ、實際第三條ト云フモノハ其效能ハナカツタト云フノハ今申ス通二千圓未滿ハ二錢、ソレカラ二千圓以上ハ十錢デアル、例ヘバ六千圓ノ爲替手形ヲ組マウトスルトキニハ

大抵ノ商賣人ハ六千圓ノ手形一枚ナラバ即チ十錢ノ印紙ヲ貼ラナケレバナラヌ、所ガ之ヲ四ツニ分ケマシテ、千五百圓宛ノ手形ヲ四枚折ヘル、即チ一枚ニ附イテハ二錢宛、デスカラニ四ガ八錢デ事ガ濟ム、サウスルト第三條ノ效能ハ殆ドナイ、ソレデ此度之ヲ改正シテ第四條中へ約束手形爲替手形ヲ組入レテ各一錢トシテ税率ノ均一ヲ圖リ、又商業取引ニ便宜ヲ與フルコトハ至極結構ナコト、デスカラ、委員會デハ之ヲ可決シタノデアリマス、ソレカラ委員會デ斯ウ云フ工合ニ税率ヲ直シテ見ルト、印紙稅ガヒドク減ジハシナイカト云フコトヲ聞イテ見マシタ所ガ、成ル程政府委員ノ言ハレルニハ幾ラカ減ズル、今其委シイコトハ分ラヌガ大體デ印紙稅ハ年ニ八萬五ハ千圓ハ取レル、其中デ是ガ改正ニナルト二萬五六千圓位ハ減ルグラウト云フ見込、是ハハッキリシタコトデハナイガ、多分ソレ位グラウト思フ、併ナガラニ二萬五六千圓政府ノ收入ニ損ガアツカ所デ一體ノ商賣人ト云フモノガ大變利益ヲスルカラ是位ノ損毛ハ何デモナイ、何デモナインノミナラズ段々商業ガ盛ニナッテ手形ノ發行ナドモ段々多クナリ、從テ其位ナ損毛ハ取返シガ附ク、附クノミナラズ追々政府ノ得ニナルヤウナ次第デアリマス、ソレカラ第六條デゴザイマスガ、

第六條ノ趣意ト云フモノハ印紙稅ハ證書帳簿ニ印紙ヲ貼用スルノガ原則デアル、併ナガラ或ル特別ナル證券、手形ト云フヤウナモノニハ便宜上政府ヘ向ケテ現金ヲ納メマシテ、ソレデ政府デ稅印ヲ押シテ貰フ、此一々帳面ヤラ證文ニ印紙ヲ貼ルト云フ而倒ヲバ避ケヤウト云フ趣意デアル、所ガ今マデノ所デハ茲ニ書イテアル通爲替手形、約束手形、船荷證券、運送貨物引換證、倉荷預證券、倉荷質入證券、保險證券、株券、債券、是ダケノモノニ限テ居ツタモノヲ今度ハ此特權ヲ一般ノ證書竝ニ手形ニモ、此便宜ヲ與ヘルヤウニシヤウト云フ趣意デアル、是レ亦結構ナコトデアル、誰トシテ異存ノアルベキ筈ハナイ、右様ナ次第、此改正ノ趣意ト云フモノハ至極結構デ、我邦ノ商業ノミナラズ全體ノ國民ノ上ニ便宜ヲ與ヘルコトデアリマスカラ、全會一致ヲ以テ之ヲ可決致シマシタ、就キマシテハ諸君ニモ御審議ノ上原案ニ御贊成アランコトヲ希望致シマス、尙ホ又御質問等ガゴザイマスナラ政府委員ヨリ委シク述ベラレルデアラウト存ジマス

○子爵竹内惟忠君 本案ハ極簡單ナ案デゴザイマスカラ、讀會ヲ省略致シマシテ、速ニ議決アランコトヲ希望致シマス

〔賛成ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤麿君) 讀會省略ノ動議八十名以上ノ賛成アリト認メマ

ス之ニ御同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤麿君) 三分ノ二以上ト認メマス、讀會ハ省略ニナリマシタ、本案ニ御異議ナクバ原案ニ決シマス

〔異議ナシト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤麿君) 内務省所管歲出臨時部土木事業費中信濃川河口修築費繩越ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

内務省所管歲出臨時部土木事業費中信濃川河口修築費繩越ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十四年三月二十二日

右特別委員長

男爵 松平 正直

貴族院議長公爵近衛篤麿殿

〔男爵松平正直君演壇ニ登ル〕

○男爵松平正直君 内務省所管歲出臨時部土木事業費中信濃川河口修築費繩越ニ關スル法律案、此委員會ノ結果ヲ御報告致シマス、委員會ハ昨日開會ヲ致シマシテ能ク審議ヲ致シマシタ、此案ハ御承知ノ通格別疑ノ容レベキヤウナ所ハナイヤウナ案デゴザイマスガ、サリナガラ此工事ノ起リハ明治二十九年ヨリ三十三年マデ五箇年繼續費デ、其金額タルヤ、百十九萬六千四百餘圓ヲ以テ其河口ノ修築ニ充テ、五箇年ノ繼續デアル、然ルニ本年ガ其三十三年ハナニ、右様ナ次第、此改正ノ趣意ト云フモノハ至極結構デ、我邦ノ商業ノミナラズ全體ノ國民ノ上ニ便宜ヲ與ヘルコトデアリマスカラ、全會一致ヲ以テ之ヲ可決致シマシタ、就キマシテハ諸君ニモ御審議ノ上原案ニ御贊成アランコトヲ希望致シマス、尙ホ又御質問等ガゴザイマスナラ政府委員ヨリ委シク述ベラレルデアラウト存ジマス

○子爵竹内惟忠君 本案ハ極簡單ナ案デゴザイマスカラ、讀會ヲ省略致シマシテ、速ニ議決アランコトヲ希望致シマス

〔賛成ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤麿君) 讀會省略ノ動議八十名以上ノ賛成アリト認メマス

水害ニ盡力シマシタモノダカラ、其物價ノ騰貴、又材料ノ調ハヌコト名狀スベカラザル有様デアル、依ツテ此間ハ殆ド事業ヲ細トヤルト云フ位ノ模

様デアリマス、依テ十分ニ豫定通ノコトハ出來ナイ、殊ニ北海ノ如キハ非常
ナ風波ノ多イ所、デ冬ニナルト殆ド工事ハ十分出來得ス、右等ノ理由ニ依ツテ

如何ニモ豫定ノ年内ニ爲シ得ナカッタ、依テ三十六年度マデ之ヲ繼續事業ト
修正致シマシタ、之ニモ政府ハ同意致シマシタ、何ゼ同意ヲシタカト云ヘバ掛

直ヲ以テ三年トシタ譯、ハ毫モナイケレドモ成ル程五年ノ繼續ヲ又三年延サ
ウト云フノデアルカラシテ、政府ハ力ヲ極メテ出來得ルダケヤラウト云フ決

心ヲ以テ同意ヲシタノデアル、決シテ二年デ出來得ルモノヲ三年嵩ヲ掛ケテ
ヤツタ云フ主意デハナクレドモ先づ出來得ルダケ政、府モドウシテモ縮ヌテヤ
ラナケレバナラヌト云フコトガ抑希望、アルカラ、衆議院ノ修正ノ如ク出

來得ルダケ一ツ力ヲ盡サウト云フ意ヲ以テ同意ヲシタノデアル、斯ウ云フ次
第デアリマス、依テ右ノ三箇年ヲ繰越シテ行クト云フ理由モ明瞭致シマシタ
カラ全會一致ヲ以テ此案ヲ可決シタ次第デアリマス、固ヨリ簡単ノ案デアリ
マス、別段討議審議ヲ盡ス程ノコトハナイカト思ヒマスカラ讀會省略ヲ以テ

直ニ可決アルコトヲ希望致シマス、此段御報告シマス

○子爵錦織教久君 読會省略ニ賛成

〔贊成〕ト呼フ者多シ

○議長（公爵近衛篤麿君） 読會省略二十名以上ノ同意ガアルモノト認メマ
ス、之ニ同意ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長（公爵近衛篤麿君） 三分ノ二以上ト認メマス、次ニ本案御異議ガナク
バ原案ニ決シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長（公爵近衛篤麿君） 三分ノ二以上ト認メマス、次ニ本案御異議ガナク
バ原案ニ決シマス

税關貨物取扱人法案
右別冊ノ通り修正セリ依テ及報告候也

明治三十四年三月二十二日

特別委員長

伯爵 廣澤 金次郎

〔特別委員ノ修正アル箇條ノミヲ掲ク但シ第七條第八
條ニハ條數ニ二條ツ、第十條ニハ條數ニ三條線上ノ
修正アレトモ法文ニ修正ナキヲ以テ掲載セス〕

第五條 稅關貨物取扱人ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ身元保證トシテ金錢
又ハ有價證券ヲ提供スルコトヲ要ス但シ身元保證金額ハ五千圓以上ト
ス

税關貨物取扱人ハ前項ノ身元保證物ヲ提供シタル後ニ非ナレハ其ノ業務
ヲ行フコトヲ得ス

第七條（新） 稅關貨物取扱人ハ貨物ノ受取、引渡、保管及運送ニ關シ注意ヲ
怠ラサリシコトヲ證明スルニ非サレハ其ノ貨物ノ取扱料ヲ請求スルコト
ヲ得ス

第八條（新） 稅關貨物取扱人ハ取扱貨物ニ關シ受取ルヘキ取扱料、稅金其
ノ他委託者ノ爲ニ爲シタル立替ニ付テノミ其ノ貨物ヲ留置スルコトヲ得
第十一條（新） 前條ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服ナルトキハ訴願ヲ
提起スルコトヲ得

前項ノ處分ニ因リテ違法ニ權利ヲ傷害セラレタリトスルトキハ行政訴訟
ヲ提起スルコトヲ得

第十二條（原案第九條） 免許ヲ受ケヌシテ稅關貨物取扱人ノ業務ヲ行ヒタ
ル者又ハ第五條第二項ニ違反シタル者又ハ第九條ノ認可ヲ受ケヌ若ハ認
可ニ違反シテ取扱料ヲ取得シタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

〔伯爵廣澤金次郎君演壇ニ登ル〕

○伯爵廣澤金次郎君 本案ノ報告ヲ致シマスニ先チマシテ此修正ノ報告書中
誤植ガアリマスカラ前以テ申上ゲ置キマス、此報告書ノ一番前ノ此括弧ノ中
「三條ノ繰上ケ」トアリマスノハ是ハ「繰下ケ」ノ間違デゴザイマスカラ左様ニ
御承知ラ願ヒマス、是ヨリ本案ノ委員會ノ修正ノ結果ヲ御報告ヲ申上ゲマス、
本案ハ去ル二月二十三日委員ニ付託ニナリマシテ今日マデ甚ダ永イ時日ヲ費
シマシタノハ停會其他餘儀ナイタメデアリマスカラ左様御斟酌アランコトヲ
希望致シマス、本案ノ題目ノ稅關貨物取扱人ト申シマスルノハ今日マデ既ニ
横濱其他ノ稅關ニアリマスモノデ今日始テ此法律ノ結果出來ルモノデハナイ
サウデアリマス、併ナガラ從來ノ貨物取扱人ナルモノハ何等法律ノ結果ニ據
テアリ又何等勅令ト云フモノガアルモノデモアリマセヌ、單ニ從來ノ慣例
リマス、又此貨物取扱人ノ性質ト云フモノハ稅關等ノ關係民事上ニ止マツテ居リ

マスカラ商法ノ仲立人ト同ジノ場合デアリマセヌカラ、ドウシテモ之ヲ認メルニハ別ノ法律ヲ要スルト云フ必要ガアツテ今日此法律ヲ提出サレタ次第デアリマス、是ヨリ此委員會ノ修正ニ附イテ委員ノ修正ノ理由ヲ申上ダヤウト思ヒマス、此第五條中ニ身元保證金額ハ五千圓ト云フ制限ヲ設ケマシタニ附イテ、此理由ハ過日本院ヲ通過シマシタ所ノ移民保護法中ノ移民取扱人ノ身元保證金ハ一萬圓ト云フ制限ヲ置イテアリマスカラ是モ同ジキヤウナ主意ノヤウナモノデアリマスルニ附イテ即チ最低額ノ制限ヲ設クル必要ガアルト云フ理由デ、是モ五千圓ニ最低額ノ制限ヲ附ケタ次第デアリマス、始ハ矢張一萬圓ト云フ說モアリマシタケレドモ是モ一萬圓ト云フ最低額ヲ附ケマスルト横濱神戸等ハ稅關貨物ガ澤山アリ取扱人ノ仕事ノ多イ所ハ差支ハ生ジマセヌケレドモ函館、長崎等ノ開港場ニ於キマシテハ取扱人ノ至ツテ仕事ノ少イ場合ニ於テハ一萬圓ト云フ大キナ制限ヲ設ケマスルト取扱人ガ甚ダ少クナルト云フ不都合ガアルカラシテ、即チ之ヲ半減致シマシテ五千圓ノ制限ヲ茲ニ附

ケタノデアリマス、其次ニ第七條是ハマルデ新シイ條ヲ此處ニ加ヘマシタノデアリマスガ是ハ稅關貨物取扱人ノ職業ト云フモノハ商法ニアリマスル運送取扱人ノ職業ト能ク似テ居リマスカラ商法ニアリマスル……商法三百二十二條及三百三十七條ニアリマスル運送取扱人ニ對スル規定ヲ之ニ入レル必要ガアルト認メテ此第七條ヲ加ヘタノデアリマス、即チ稅關貨物取扱人ニ自分ノ取扱ヒマスル荷物ニ附イテ十分ニ注意ヲ與ヘサセル必要ガアルト云フノデ此第七條ヲ加ヘタノデアリマス、其次ニ第八條ハ是モ同シク運送取扱人ニ附イテ商法第三百二十四條ニ據ツテ規定シテアリマスル所ノ稅關貨物取扱人ガ取扱料ヲ取ラレナイ場合ニハ是ハ其貨物ノ留置ラスルト云フ權利ヲ與ヘルコトハ是レ至當デアルト云フノデ委員會デハ此條項ヲ加ヘタノデアリマス、ソレニ第十一條、是モ新シク此處ニ加ヘマシタノデアリマスガ、是ハ行政官ノ處分ガ若シ違法デアツタ時分ニハ之ニ相當ノ訴願……行政訴訟ミタイナ途ヲ與ヘルノガ是ハ至當ナコトデアラウト申シ且ツ又昨日漁業法案ナドニモ此條項ガアリマシタ次第デアリマスカラ、此處ニモ此訴願及行政訴訟ノ途ヲ明ケテ置クコトガ當然ダラウト云フノデ此十一條ヲ加ヘタノデアリマス、其次ハ十二條デゴザイマスガ、此十二條ノ「十圓以上」ト云フ字ヲ削除シマシタノハ今日諸法律ノ罰則中ニモ最低限ヲ掲グラリスト云フノガ慣例デアリマスカラ、此法律ニモ最高額ヲノミ此處ニ掲グテゴザイマシテ最低額ハ掲グテ置ク必要ハナイト云フノデ、此「十圓以上」ト云フ四文字ヲ削除シタノデアリマス、

- 議長（公爵近衛篤麿君）別ニ御質問ガナケレバ本案ヲ二讀會ニ移スベキヤ否ヤノ決ヲ採リマス、本案ヲ二讀會ニ移スニ御異議ハゴザイマセカ
ト申シマシテモ稅關貨物ハ必ズ此取扱人ニ依ラナケレバ取扱ガ出來ナイト云フコトデアリマセヌ、貨主自ラ從來ノ如キ慣例ニ依ツテ自分ノ貨物ヲ取扱フコトハ勿論出來ルト云フコトデゴザイマスカラ左様御承知ヲ願ヒマス、此段宜シク……
- 議長（公爵近衛篤麿君）別ニ御質問ガナケレバ本案ヲ二讀會ニ移スベキヤ否ヤノ決ヲ採リマス、本案ヲ二讀會ニ移スニ御異議ハゴザイマセカ
ト申シマシテモ稅關貨物ハ必ズ此取扱人ニ依ラナケレバ取扱ガ出來ナイト云フコトデアリマセヌ、貨主自ラ從來ノ如キ慣例ニ依ツテ自分ノ貨物ヲ取扱フコトハ勿論出來ルト云フコトデゴザイマスカラ左様御承知ヲ願ヒマス、此段宜シク……
- 議長（公爵近衛篤麿君）ソレデハ二讀會ニ移シマス
○男爵西五辻文仲君 直チニ二讀會ヲ開カレンコトヲ希望致シマス
〔「贊成」ト呼フ者アリ〕
- 議長（公爵近衛篤麿君）御異議ガナクバ二讀會ニ移リマス
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
- 議長（公爵近衛篤麿君）全部ヲ問題ニ供シマス、特別委員ノ修正ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
- 議長（公爵近衛篤麿君）御異議ガナクバ二讀會ニ移リマス
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
- 議長（公爵近衛篤麿君）全部ヲ問題ニ供シマス、特別委員ノ修正ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
- 議長（公爵近衛篤麿君）多數ト認メマス、特別委員ノ修正ノ通決シマス
○伯爵大原重朝君 二讀會ヲ開カレンコトヲ……
- 議長（公爵近衛篤麿君）御異議ガナクバ二讀會ニ移リマス
〔「贊成」ト呼フ者アリ〕
- 議長（公爵近衛篤麿君）本案御異議ガナクバ原案ニ決シマス
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
- 議長（公爵近衛篤麿君）本案御異議ガナクバ原案ニ決シマス
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
- 村田保君 村田君ハ何デス
○村田保君發言ノ許可ヲ求ム
- 議長（公爵近衛篤麿君）生絲検査所法中改正法律案ト云フノガ此次ニアリマスルガ、此次ニナサツテハ如何デアリマス

○村田保君 ハア

○議長(公爵近衛篤麿君) 直ニ二讀會ニ移ストシテ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤麿君) 生絲検査所法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、是ハ政府ヨリ議院法二十八條ノ但書ニ依テ委員ニ付託セズシテ議決ヲシテ貴ヒタイト云フ要求ガゴザイマス、御異議ガナクバ其通致シマス

ス 「異議ナシ」ト呼フ者アリ

生絲検査所法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十四年三月二十一日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤麿殿

生絲検査所法中左ノ通改正ス

第一條 削除

附 則

本法ハ明治三十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

生絲検査所法中改正法律案

右法律案議院法第二十八條但書ニ依リ議定相成度此段及要求候也

明治三十四年三月二十三日

内閣總理大臣侯爵伊藤博文

貴族院議長公爵近衛篤麿殿

〔政府委員和田彦次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(和田彦次郎君) 理由ヲ一言致シテ置キマス、是ハ明治二十八年

ノ六月ニ出來テ居リマスル現行法ガゴザイマス、其第一條ニ生絲検査所ハ横濱及神戸ニ置クト云フコトニナツテ居リマス、然ルニ御承知ノ如ク豫算ノ方

デハ既ニ神戸ノ分ガ否決ニナリマシタ、豫算モナイコトニナリマスルシ、且

ツ神戸ノ方ハ目下是非置カナケレバナラヌト云フ場合デモゴザイマセヌノデ

第一條ヲ削リタイト云フ趣意デゴザイマス

○議長(公爵近衛篤麿君) 御發議ガナクバ本案ヲ二讀會ニ移スベキヤ否ヤノ

決ヲ採リマス、本案ハ二讀會ヲ開カレンコトヲ……

〔異議ナシ〕ト呼フ者多シ

○議長(公爵近衛篤麿君) 二讀會ニ移リマス、御異議ガナクバ原案ニ決シマスガ……

○侯爵細川護成君 繼イテ三讀會ヲ……

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○侯爵細川護成君 引續キ三讀會ヲ開カレンコトヲ希望致シマス

〔賛成〕ト呼フ者アリ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤麿君) 御異議ガナクバ三讀會ニ移リマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤麿君) 本案御異議ガナクバ原案ニ決シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○村田保君 此際ニ議事日程ヲ變更サレテ三十一年度ノ決算ノ報告ヲ致シタ

イト存ジマス、ドウゾ諸君御賛成ヲ願ヒマス

〔賛成〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤麿君) 御異議ガナクバ其通ニ致シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

明治三十四年三月二十二日
辯明中穩當ヲ闕クモノアリト雖別ニ決議案ヲ提出スルノ必要ヲ見スト議決セリ依テ及報告候也

明治三十四年三月二十二日

決算委員長 村 田 保

貴族院議長公爵近衛篤麿殿

〔村田保君演壇ニ登ル〕

○村田保君 是ヨリ明治三十一年度歲入歲出決算ノ報告ヲ致シマス、一月二

十二日ニ正副委員長ヲ選舉致シマシテ不肖ガ委員長ニ選舉サレマシテ山内子

爵ガ副委員長ニ選舉ニナリマシタ、ソレカラ致シマシテ二月ノ四日ニ主査ノ

互選ト云フモノヲ致シマシタ、二月二十七日ニ三十一年度ノ即チ此決算書ト受取リマシタ、丁度同日議會ガ停會ニナリマシテ、本月ノ九日ニ再度ノ停會ニナリマスシ、本月ノ十五日ニナリマシテ決算委員ノ總會ヲ開キマシタ、サウ致シマシテ慣例ニ依リマシテ各分科ノ審查期日ヲバ來ル二十日マデ五日間ヲ審査期日ト定メマシタ、丁度其日ニ會計検査院報告ニ對シマスル政府ノ辯明書ト云フモノヲ十五日ニ受取リマシタ位デゴザイマシテ、モウ會期モ誠ニ切迫ヲ致シテ僅カ一週間バカリシカゴザイマセヌガ、併シ五日間ニ決算委員諸氏ニ於キマシテハ非常ナル勉勵ニ依リマシテ豫定ノ期日ニ審查ガ終リマシテ委員長マデ報告ニナリマシタ、ソレデ昨日決算委員會ヲ開キマシテ政府委員モ之ニ出席ヲ致シマシタ、各科ノ主査ヨリ報告モゴザイマシテ、又其異議ノゴザイマスル點ヲ審査致シマシタ、隨分此際種々ノ議論モ出マシタガ、遂ニ其結果御手許ニアリマスルヤウナ議決ニナリマシタ、ソレデ各主査ヨリ報告ニナリマシタル異議ノ箇條モ段々ゴザイマスルガ、之ヲ一々申上ゲマスルト餘程煩雜ヲ免レヌト思ヒマスカラシテ、諸君カラ御求ガゴザイマスレバ一々申上ゲマス積リデスガ、如何ニモ煩雜ダラウト存ジマスルシ、且ツ會期モ非常ニ切迫シテ居リマスカラ其分ハ略スル心得デゴザイマス、併シ段々三十一年度ノ決算ヲ見マスト、隨分不都合ノ事ガ段々ゴザイマス、隨分或ハ決議ニシテモ宜シ、或ハ上奏シテモ宜イト思フ位ノ事ガナキニシモアラヌデゴザイマスガ、ドウモ是マデノ段々ノ慣例上、多ク決議トカ唯斯ノ如キ議決デ止メルコトガ多クゴザイマスカラシテ、今回モ先づ先例ニ依リマシテ議決ダケニ致シマシタノデ、併ナガラ本員ハドウモ此決算ト云フモノハ斯ク輕シク年々唯議場ヘ出シテ、決議トカ或ハ議決トカ致シテ其儘デ置キマシタラバ將來此決算委員ナドハナイデモ宜イデヤナイカト云フ考ヲ實ハ今度起シマシタ、ソレデ是マデ此決算ノ報告ト云フモノハ丁度今回デ帝國議會開會以來六回デアル、其一回ガ二十八年ノ三月ニ決算委員ノ報告ガゴザイマシタガ、其時ニ二十四年度ノ決算報告ガゴザイマシタ、其報告モ矢張決議バカリニ止メテアリマシタ、ソレカラ二十五年度ノ方ハ本院ニ於テ既ニ上奏マデシャウトシタコトガアル、ソレハドウ云フ譯デゴザイマスカト云フト、遞信省ノ部ニ於キマシテ競争入札デ以テ執行シナクテハナリマセヌヲバソレ豫算價格ニ複制限ヲ設ケタト云フノガ、是ハ甚ダ不都合ナ譯デアルカラ上奏ヲシャウト云フコトニナツタノデ、然ル處本會議ニ於キマシテ遂ニ其上奏案ガ否決ニナッテ仕舞ツタ、ゾレカラ第二回ガ二十九年ノ三月ニ是モ矢張複制限ヲ設ケタノデ

アリマスガ、矢張其時モ決議案バカリニ止メタノデゴザイマス、ソレカラ第三回ガ三十年ノ三月二十四日デゴザイマシタガ、是ハ熊本縣ノ新開地ノ地租ヲ取ルベキノヲ取ラヌト云フノデ、是モ決議バカリニ止メマシタ、ソレカラ第四回ハ三十二年二月二十八日デゴザイマスガ、是モ矢張決議ニ止メテゴザイマス、ソレカラ昨年ハ丁度今回提出致シマシタヤウナ譯デ、不穩當ト認メルケレドモ決議案ヲ出ス必要モナイカラト云フノデ議決スルダケニナツテ居ル、然ル所ガドウモ段々見マスルノニ、會計検査院カラシテ是ハ會計法ニ違背シテ居ルモノデアル、不當ナ仕拂デアルト云フコトガ段々會計検査院ニ於テ見出シテ報告ニナツテ居リマス、所ガ政府ニ於テモ成ル程ソレハ不都合デアツタト云フヤウナコトガ段々ゴザイマスルケレドモ其不都合ヲ見テモ一向唯之ヲ議會デ決議シテ置クトカ議決シテ置クバカリデハ一向其效ガゴザイマセヌカラ、假令當年議決シテモ明年ハ同ジコトヲシテ居ル、ソレデ是マデノ違法處分ト云フコトヲ見マスルニ、多クハ競争デ以テ入札シテ物ヲ買上ゲナケレバナラヌ、競争入札ヲスルベキヲシナイデ、ソレヲ隨意契約ニスルト云フコトガ往々アル、年々ソレガアル、ソレデ五百圓以上ノモノハ必ズ競争入札ニシナケレバナラヌト云フコトガ會計法ニ定メテアルノデゴザイマスケレドモ、其五百圓以上トナルト競争入札ニ手ガ掛ルト云フノデ、例ヘバ二千圓ト云フモノハ五ツニ分ケテ五百圓以下ニシテ幾度ニモ分ッテ随意ニヤルト云フコトガ間アル、是等ハ甚ダ不當ナ處分デアルト思フノデトガ多クゴザイマスカラシテ、仕拂フベキモノヲ年度外ニ拂ツテ仕舞ツタト云フヤウナ會計法ニ反イタコトガ續々アル、殊ニ甚シキハ今回ナドモサウデゴザイマスガ、陸軍省ニ行クト最アリマス、或ハ科目ノ流用ダノト云フコトガ段々ゴザイマスシ或ハ年度内ニ仕拂フベキモノヲ年度外ニ拂ツテ仕舞ツタト云フヤウナ會計法ニ反イタコトガ是ハ機密ダカラ隨意契約ニシタ、或ハ行李ノヤウナモノヲ買フノデスラ是モ甚シイ、イツモ競争ノ入札ヲシナケレバナラヌモノヲバ隨意契約ニシテ仕舞フ、ソレヲバ會計検査院カラ咎メルト是ハ軍事上ノ秘密ダ、軍器ノ秘密ダカラ是ハ隨意契約ニシタノデアル、今度アタリモソレデ「セメント」ヲ買フニ是ハ機密ダカラ隨意契約ニシタ、或ハ行李ノヤウナモノヲ買フノデスラ是モ甚シイ、イツモ競争ノ入札ヲシナケレバナラヌモノヲバ隨意契約ニシテ仕舞フ、ソレヲバ會計検査院ト云フモノガアレバ、議會ニハ決算委員ト云フモノモアル、然ルバ行政官ガイツモサウ云フ不都合ナコトヲシテ居ル、法律ニ反イタコトヲシテモ唯決算委員ガ決議トカ或ハ議決トカ云フコトヲモレハ一向何トモ思ハナイ、又例ニ依テ極ツタコトダト云フヤウナモノデ一

向決算ト云フモノハ有名無實ナモノデ、年々斯様ナコトヲスレバ實ニ無クテモ宜イト思ヒマス、本員ハドウゾ今回ハ致シ方ガゴザイマセヌガ、將來ハ十分ニ此決算委員ノ無效ニナラヌヤウニ政府モ此議會デ以テ決算委員ガ決シマシタコトハ十分ソレヲ遵奉シテ貰ヒタイト思フ、唯モウ議會ニ出シタラソレキリデ、其時ハ將來氣ヲ附ケルトカ云フコトヲ言ヒマスガ、其次ノ年度ハ直グトヤツテ居ル、毎年同ジコトヲヤツテ居ル、ソレデドウゾ本員ニ於キマシテハ將來ハ嚴酷ニシテ若シ翌年此次ノ議會ニ於キマシテ斯様ナ不都合ナコトガゴザイマスレバ上奏ヲスルガ宜イ、法律上許サレテアリマスカラ上奏デモシテ、ビシノヽ嚴シクヤルガ宜イ、ソレデ聞カナケレバ主務大臣ヲ彈劾マデシテヤラナケレバナラヌ、實ニ決算委員ヲ設ケタ甲斐モナケレバ會計検査院ヲ設ケタ甲斐モナイ、検査院ガ今日骨ヲ折ツテ是ダケ調ベテ來テモ唯議會ニ出シテ見ルト決議トカ議決トカ申シテ、ドンヽ濟デ仕舞フコトデゴザイマスカラ、之ヲ考ヘマスト歎息ニ堪ヘナイ、ソレ故ニドウゾ政府ニ於キマシテモ此後ハ會計法ヲ遵奉シ又議會デ決議ニナリマシタコトハ、ドコマデモ遵奉ヲシテ、ドウゾ會計法ニ戻ルヤウナコトヲシナイヤウニシテ欲シイト存ジマス、是ハ本員ガ將來ノ希望ヲ豫メ申シマシテ諸君ノ御参考マデニ供シマシタノデゴザイマス

○議長（公爵近衛篤麿君） 決算委長ノ報告ニ御異議ハゴザイマセヌカ
〔「異議ナシ」と呼フ者多シ〕
○議長（公爵近衛篤麿君） 唯今衆議院ヨリ政府提出案ノ事業公債條例中改正法律案ト云フノガ回ツテ來マシタ、之ヲ朗讀致サセマス、本文ヲ朗讀致サセマス
〔「小原書記官朗讀」〕
事業公債條例中左ノ通り改正ス

第一條中「一億三千五百萬圓」ヲ「一億五千萬圓」ニ改ム
○議長（公爵近衛篤麿君） 此際日程ヲ變更シテ、アレヲ議スルト云フコトニ致シテ如何デゴザイマス
〔「異議ナシ」と呼フ者多シ〕
○議長（公爵近衛篤麿君） ソレデハソレニ移リマス、唯今ノ案ヲ委員ニ付託スルコトデアリマスガ、是ハ鐵道敷設法中改正法律案ト同一ノ委員ニ致シテ宜カラウト思ヒマス、如何デゴザイマス

〔「異議ナシ」と呼フ者多シ〕
○侯爵細川護成君 此際議事日程ヲ變更セラレマンテ明治三十二年度豫備金支出ノ件、明治三十二年度特別會計豫備金支出ノ件並明治三十二年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件ノ議事ヲ開クコトヲ希望致シマス

〔「贊成」と呼フ者多シ〕

○議長（公爵近衛篤麿君） 御異議ガナクバ其議事ニ移リマス、明治三十二年度豫備金支出ノ件外二件承諾ヲ求ムルノ件、特別委員長報告

明治三十二年度豫備金支出外二件承諾ヲ求ムルノ件

右承諾スヘキモノト議決セリ依テ及報告候也

明治三十四年三月二十三日

右特別委員長

侯爵 細川 護成

貴族院議長公爵近衛篤麿殿

〔「侯爵細川護成君演壇ニ登ル」〕

○侯爵細川護成君 唯今議題ニ上ツテ居リマスル明治三十二年度豫備金支出ノ件外二件ノ特別委員會ニ於キマシテ審査致シマシタル所、政府委員ノ説明モ聞キマシテ、是ハ承諾スベキモノト議決致シマシタノデゴザイマス、是ハ大分紙數ガ多ウゴザイマスケレドモ別ニ議論モ出マセズ委員會ニ於キマシテハ可決スベキモノト認メマシタノデゴザイマス、ドウゾ滿場諸君ニ於カセラレマシテモ御贊成アランコトヲ希望致シマス

○議長（公爵近衛篤麿君） 本案ニ承諾ヲ與ヘベキモノト認メテ御異議ハゴザイマセヌカ
〔「異議ナシ」と呼フ者多シ〕

○子爵長岡護美君 本員モ此際一ツノ動議ヲ提出致シマス、此狩獵法改正案ハ比較的今日ノ法案ヨリ宜シウゴザイマス……
○議長（公爵近衛篤麿君） チヨット御待チ下サイ、長岡子爵ニチヨット申シマスガマダ其議事ニ移ツテ居リマセヌ

○子爵長岡護美君 チヨット理由ヲ……
○議長（公爵近衛篤麿君） ソレデハ日程變更ノ動議ハ満場ガ容ル、ヤ否ヤフ先ニ……

○子爵長岡護美君 然ラバ我ニガ修正ヲ加ヘマシタ點モアリマスルカラ、ドクソ議事日程ヲ變更シテ直チニ議事ヲ開カレンコトヲ希望致シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤麿君) 御異議ガナクバ其通決シマス、狩獵法改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

右別冊ノ通り修正セリ依テ及報告候也

明治三十四年三月二十三日

右特別委員長

子爵長岡護美

貴族院議長公爵近衛篤麿殿

〔特別委員ノ修正アル箇所ノミナ掲ク但シ左ニ掲クル外
第七條以下一條ツ、續下ノ修正アレトモ法文ニ修正ナ
キヲ以テ之ヲ略ス〕

第七條(新) 地方長官ハ必要ト認ムル場合ニ於テハ區域ヲ限り銃獵ヲ禁ス

ルコトヲ得

第十一條(原案第十條) 免狀ヲ受クル者ハ甲乙各種ニ付左ノ區別ニ從ヒ免
許稅ヲ納ムヘシ

一等 (所得稅百圓以上、地租五百圓以上若ハ營業
稅百五十圓以上納ムル者又ハ其ノ家族) 金二十圓

二等 (所得稅三圓以上、地租三十圓以上若ハ營業
稅二十圓以上納ムル者又ハ其ノ家族) 金十圓

三等 一等、二等以外ノ者

〔子爵長岡護美君演壇ニ登ル〕

○子爵長岡護美君 此狩獵法改正案ハ昨日モ散會後ニ直グニ委員會ヲ開キマシテ、又今朝モ朝早クヨリ逐條ノ審議ニ掛リマシテ、而シテ少シク修正ヲ加ヘマシテ今日議場ニ提出シタ次第アリマスル、デ逐條審議致シテ見マスト是マデノ狩獵法ヨリモ餘程事が明瞭ニナリマシテ、而シテ濫獵ヲ防止シ、又鳥獸ノ蕃殖ヲ圖リ且其人民ノ保護ヲスルニ至極宜シキ案ト考ヘルノデアリマスルガ、此第六條ノ下ニ第七條ヲ加ヘマシタノハ、是ハ全ク其銃獵ノ危險ヲ避クルタメデアリマシテ、斯ウ云フ風ニナッテ居ル方ガ人民ノ保護ニナラウト云フ點カラ加ヘタノデアルノデアリマスル、ソレカラ第十條ノ方ハ此「其ノ家族」ト云フコトヲニツトモ加ヘテ置キマシタノハ既ニ此十五條ニ未丁

年者ハ免狀ヲ受クルヲ得スト云フコトニナッテ居リマスルデ大概ソノ家主ト家族ト云フモノハ同ジャウナ譯デアリマスカラ、矢張同様ニ免許稅ヲ拂ハセルノガ至當デアラウト云フ譯デ斯ウ云フコトニ致シタ次第デアルノデアリマスル、扱此狩獵法ノ如キハ取締ト云フコトガ最モ必要デアルコトデアリマシテ、今日ノ儘デハ如何ニモ實際法律ヲ厲行スルニ缺點ガアラウカト考ヘルデアリマシテ、我ニハ當局者ノ方ニモ將來ニ向ッテハ十分ニ注意ヲ願ヒタイト云フコトヲ交渉致シタ次第デアリマシテ、當局者ニ於テモ將來ニ向ッテハ十分注意ヲスルト云フ答辯ニナッテ居ルノデアリマス、今度ハ諸君ノ御覽ノ通リ餘程コノ免許稅モ高クナッテ居リマスカラ、自然收入モ多イ譯デアリマスカラ、ドウカ十分ニ此取締ノタメニ其金額ノ中ヲ宛テ、チトドウカ案ノ目的ヲ達スルヤウニナリタイト云フ希望デアリマシテ、一旦申上グレバ大分精密デアリマスルカラ、ドウカ此比較的今日ノ法ヨリハ宜シイト云フコトニ附イテ、ドウカ諸君モ御贊成ヲ願ヒクイノデアリマス、願クハ今日會期モ切迫ニナッテ居リマスカラ、ドウカ讀會省略デ可決ニナラムコトヲ希望致シマス

○伯爵廣澤金次郎君 委員長ニ質問致シマスガ、修正ノ第七條ト原案ノ第六條トハ一向差ヲ認メマセヌガ、ドウ云フ差ガアリマスカ、チヨット……。

○子爵長岡護美君 是ハ全クソノ唯銃獵ヲ止メルト云フ方ノコトデアルノデアリマシテ、ドウモ此第六條ノ儘デハマダ少シクスワ云フ場合ニ於テ不都合デアラウト云フ考カラ別ニ區域ヲ限りテ銃獵ヲ禁ズルト云フコトヲ地方長官ガ必要ト認メル場合ニ於テ禁ズルコトガ出來ルト云フコトニシタノデ、是ハ唯銃獵上ノ事柄ハ危險モアリマセウシ、又其土地ヲ荒スコトモアリセウカラ、此事ハ別ニ一ツ加ヘテ置イタラ宜カラウト云フ譯デ別ニ掲グタ譯デアリマシテ、別ニ他ニ深イ理由ハナイノデアリマス

○子爵平松時厚君 私モ一ツ質問致シマス、私モ質問シャウト思ッテ居リマシタガ、此第六條ト第七條ト、茲ニアル第六條ニ地方長官ト云フコトガ加ヘマシテ、別ニ他ニ深イ理由ハナイノデアリマス

○子爵長岡護美君 是ハ場所ニ依ルノデアリマシテ、全ク其銃獵ダケハ危險デアルト云フヤウナ所ノタメニ之ヲ設ケタノデアリマシテ、之ヲ禁獵區ガ出來ルコトニナッテ居ル、然ルニソレデナクシテ尙ホ又第六條ヲ加ヘルノハ必要ガナイヤウデアリマスガ、是ハドウ云フ譯デアリマスカ

○子爵長岡護美君 是ハ場所ニ依ルノデアリマシテ、全ク其銃獵ダケハ危險デアルト云フヤウナ所ノタメニ之ヲ設ケタノデアリマシテ、之ヲ禁獵區ト一樣ニ御覽ニナッテハ甚ダ不都合ナ次第デアルノデアリマス

○伯爵廣澤金次郎君 私ハ第七條ハ削除シタイト思ヒマスカラ讀會省略ハ成

立タヌヤウニ……

○議長(公爵近衛篤麿君) 讀會省略ノ動議ハ成立ツテ居リマセヌガ、アナタハ修正ノ又修正デアリマスカ

○伯爵廣澤金次郎君 イエ、削除デアリマス、原案通ニスルノデアリマス

○議長(公爵近衛篤麿君) 然ラバ第二讀會ニ移ツテカラデ宜シウゴザイマセウ

○男爵伊達宗敦君 唯今廣澤君トソレカラモウ一人ノ方カラ六條ト七條ニ附

イテ委員長ニ御質問ニナツテ、委員長モ十分ニ御述べニナリマシタガ、少々足ラヌ所ガアルト思ヒマスカラ、私モ委員ノ一人トシテ御分リニナル限ノ説明ヲ試ミタイト思ヒマス、此第六條ノ禁獵區ヲ設クルノハ鳥ノ蕃殖上ノタメニ絶對ニ狩獵ヲサセナイ、甲乙二種何レノ種類ニシテモ狩獵ヲ許サヌト云フノ

デ、詰リ打明ケテ申セバ網デ捕ルコトモ鐵砲デ捕ルコトモ鳥獸ヲ捕ルコトハ總テ許サヌト云フノデアリマス、ソレデ第七條ヲ加ヘタ主意ハ田舎ナド百姓家ノ近所デアルトカ或ハ田畠ヲ耕シテ居ル者ニ危険デアルト云フ主意ナノ

デ、鳥ヲ捕ルノハ少モ差支ナイガ、銃獵ハ危險ダト云フ場合カアルノデアリマス、ソレデサウ云フトキニハ其所有者ガ地方長官ニ願タトキニ銃獵ダケ禁ズルト云フコトヲ設ケタ方ガ宜シトイ云フ説ヲ提出シタ方ガアツテ、斯ウ云

フ修正ガ出來タノデゴザイマスカラ、ドウカ左様ニ御承知ヲ願ヒマス
○石井省一郎君 私ハ請願委員ノ方へ行キタウゴザイマス、御許ヲ願ヒタイ
○議長(公爵近衛篤麿君) アナタ一人デスカ

○石井省一郎君 サウデハゴザイマセヌ、是カラ委員會ヲ開キタイト思ヒマス、唯今委員長ガ居ラレマセヌカラ請求スルノデゴザイマス

○議長(公爵近衛篤麿君) ドウモ定足數ニ疑ガアリマスカラ暫ク御見合セラ

願ヒマス

○男爵渡邊清君 第七條ニ附イテ伊達男爵カラ申サレテ大分委シヤウデアリマスガ、全體此七條ヲ加ヘタ主意ノ一ツノ解釋ノ中ニ落チテ居ルト云フノ

ハ第一、火薬庫ノ如キ、火薬庫ノ場所ナドハ此四條ノ中ニ入ッテ居リマセヌ

ノデゴザイマス、斯ウ云フ所ハ區域ヲ限テ禁ジテ置キマセヌト危険デゴザイマス、サウ云フ場所ガ外ニモアリマセウト思ヒマスカラ、チヨット申シテ置

キマス

○議長(公爵近衛篤麿君) 本案第二讀會ニ移ルベシトシテ御異議ハゴザイマ

セヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○伯爵大原重朝君 直チニ二讀會ヲ開カレンコトヲ……

○議長(公爵近衛篤麿君) 直チニ二讀會ヲ開ケト云フコトニ御異議ガナクバ

二讀會ニ移リマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤麿君) 第一條ヨリ第六條マデ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤麿君) 御異議ガナクハ原案ニ決シマス、次ハ第七條

○伯爵廣澤金次郎君 今伊達男爵ヨリモ段々御説モ承リマシタガ、私ハマダ七條ノ必要ヲ認メマセヌ、ナゼナラバ原案ノ六條ニハ「其他ノ理由ニ因リ必

要ト認ムル場合ニ於テハ十箇年以内ノ期間ヲ以テ禁獵區ヲ設クルコトヲ得」

其他ノ理由ニ因リ」ト云フコトハ總テノ理由ヲ網羅シタモノダラウト思ヒマス、且又十箇年以内トアリマスカラ十年以内ノ期間デ禁獵區ヲ設ケルコトガ出来ル、禁獵ト云フハ其區域内デ獵ヲ禁ズルト云フ意味デ、私ハドウ考ヘテモ第七條ヲ設ケル必要ハナイト思ヒマスカラ七條ハ削除スルコトヲ希望シマス

〔政府委員和田彦次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(和田彦次郎君) 唯今二讀會ノ逐條ニ移ツテ居リマス際ニ此修正ノ七條削除ト云フ動議ガ出テ居リマスガ、委員會ニ於テ決セラレマシタ所ノ

意味ガ十分ニ廣澤サンノ所ニ分ツテ居ラヌカト考ヘマスルカラ、強テ之ヲ主張スルノデハアリマセヌケレドモ、意思ダケハ明ニシテ置キマス、第六條ニ

ゴザイマスノハ地方官ガ鳥獸ノ蕃殖保護ノタメニ禁獵區ヲ設クルコトヲ得、又ハ土地ノ所有者ガ禁獵區ヲ設クルコトヲ得ルト云フ兩項デ此禁獵區ト申シ

マスモノハ獵ヲサスコトハ一切禁ジマスノハ文字ノ通デゴザイマス、而シテ此修正ノ第七條ノ這入ッテ居リマスノハ獵ハサセマス、禁獵區デハゴザイマセ

ヌ、銃獵ダケヲ止メルトスウ云フ意味ナノデ、狩獵デナク銃獵デゴザイマセ

ソレデ之ヲ實地ノ例ヲ申シマスレバ、東京ノ隅田川ノ川口ノ如キハ御承知ノ

通ニ船舶ガ大變輻湊致シマスルデ、斯ウ云フ所ニ於テ鐵砲ヲ擊ツコトハ宜ク

ナイ、併シ銃デナク其他ノ危険ノナイ此規則ノ中ニ在ル器具ヲ以テ鳥ヲ捕ル

分ハ許スト云フコトハ地方長官ガ其場所ニ依リマシテサウ云フ計ヒヲ爲スコ

トヲ得ルトスウ云フ修正ノ意味デゴザイマス

○伯爵廣澤金次郎君 政府委員ノ説明デ了解シマシタカラ撤回シマス

○議長(公爵近衛篤麿君) ソレデハ第七條ヨリ終マデ併テ問題ニ供シマス、委員會ノ修正ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤麿君) 過半數ト認メマス、委員會ノ修正ノ通ニ決マス

○伯爵大原重朝君 直ニ第三讀會ヲ開カレンコトヲ……

○議長(公爵近衛篤麿君) 御異議ガ無クバ三讀會ニ移リマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤麿君) 本案ハ可決ト見テ御異議アリマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○伯爵大原重朝君 議事日程ヲ變更シテ葉煙草專賣法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ願ヒタウゴザイマス

○議長(公爵近衛篤麿君) 大原伯爵ノ動議ハ葉煙草專賣法中改正法律案ヲ此際議スルト云フノデアリマス、御異議ガナクバ其通ニ致シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤麿君) 葉煙草專賣法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治三十四年三月二十三日

右特別委員長
伯爵 大原 重朝

貴族院議長公爵近衛篤麿殿

〔伯爵大原重朝君演壇ニ登ル〕
葉煙草專賣法中改正法律案ノ委員會ノ模様ヲ報告致シマス

○伯爵大原重朝君 葉煙草專賣法中改正法律案ノ委員會ノ模様ヲ報告致シマス、今回專賣法中改正案ヲ出サレマシタ主眼ハ密賣ガ甚ダシイカラ之ヲ禁ジ

ナケレバ稅ノ收入ガ甚ダ減ズルヤウナ次第デアリマスルカラ、根本的取締ラナクテハイカスト云フコトデ、耕作ノ根源カラ煙草ノ葉ノ枚數カラソレヲ調查スル、ソレカラ耕作者ノ外國へ輸出スルニ附キマシテハ是マデ耕作地ニ向ッ

テ賣買ヲ求メテ輸出スルト云フコトニナツテ居ツタノデアリマスルケレドモ、

今回ノハ政府ニ買上ダモノヲ輸出スルト云フコトヲ許スト云フコトニモナツテ居リマス、雙方ノ自由ヲ與ヘタ、ソレト製造人ト產地ノ區別ガ立タヌデアリマス、製造人ガ產地ノ方ニ製造所ヲ設ケルト云フコトニナリマスト、其間ニ密賣ヲスルコトニナリマスルカラ、ソレ等ノコトモ禁ジタイト云フ考ナ

ノデゴザイマス、彼是質問モ多々ゴザイマシタケレドモ主眼トスル所ハ即チ密賣ヲ禁ズルト云フノガ大主眼デゴザイマスルカラ滿場一致デ可決致シマシ

タ、箇條ニ附キマシテハ隨分長ウゴザイマスルカラ御不審ノコトモ禁ジタイト云フ考ナ

シタナラバ、政府委員カラ御答辯ニナルヤウナコトニ致シタイ

○石井省一郎君 大分人數モ増シマシタヤウデゴザイマスガ、是カラ開キマシテ如何デゴザイマスカ

○議長(公爵近衛篤麿君) モウ宜シウゴザイマス、本案二讀會ニ移スベキヤ否ヤノ決ヲ採リマス、本案ヲ二讀會ニ移スベシトシテ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤麿君) ソレデハ二讀會ニ移スベシト決シマス

○男爵中川興長君 直ニ二讀會ヲ開カレンコトヲ……

○議長(公爵近衛篤麿君) 直ニ二讀會ヲ開クト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤麿君) ソレデハ二讀會ニ移リマス、本案全部ヲ問題ニ供シマス、御異議ガナクハ原案ニ決シマス

○伯爵大原重朝君 直ニ第三讀會ヲ開カレンコトヲ……

○議長(公爵近衛篤麿君) 直ニ三讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤麿君) 三讀會ヲ開キマス、御異議ガナクバ原案ニ決シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○子爵鍋島直彬君 此際議事日程ヲ變更シテ關稅定率法附屬輸入稅表中改正法律案一讀會ノ續ヲ開カレンコトヲ……

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵近衛篤麿君） 御異議ガナクバ 其通致シマス、關稅定率法附屬輸入稅表中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

關稅定率法附屬輸入稅表中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治三十四年三月二十三日

右特別委員長

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

〔子爵鍋島直彬君演壇ニ登ル〕

○子爵鍋島直彬君 本案委員會ノ經過並ニ結果ヲ報告致シマス、本案ノ委員

會ハ午前ト午後ト本日兩度開キマシタ、本日一日テ委員會ハ結了致シマシタ
ケレドモ、其際質問其他意見モ續々ト出デマシテ十分ニ審議ヲ盡シマシテゴ
ザイマス、本案ハ…可決スベキモノト議決シタル理由ヲ御報告致ス前ニ誤
植ガゴザイマスカラ、ソレヲチヨット申シマス、附則ト云フ所ノ前ニ「第二種
五四ノ一」トアルノハ「五一四ノ一」ト云フコトノ誤植デアリマスカラ、其事
ヲ報道致シマス、チヨット申シテ置キマス、此本案ノ主意ハ御承知ノ通アノ輸
入稅表ノ第一種ノ十六類雜品ト申ス中ニ即チ輸入稅其四九六ト云フ番號ノ所
ニ「其他稅目中ニ掲ケサル製造者ハ未製品」ト云フノニ是ガ這入ッテ居ルノデ
ゴザイマス「コブラ」ト云フノモ「鐵礦」ト云フノモ、ソレヲ此度ハ即チ第
二種ノ免稅品ニナルノデス、ソレデ此「コブラ」ト申スノハ即チ御承知ノ通彼
ノ石鹼ヲ製スル原料ノニナルモノデ石鹼ノ製造ニハ必要ナ物デアルト申ス
コトデアリマス、然ルニ此「コブラ」ノ輸入シテ居ルノハ何レノ地方カラ輸入
スルカト申スト、即チ南洋ヨリ輸入致シテ居ルノデ、所ガ此輸入當業者ニ於
テ南洋ノ椰子ヲ多ク生ズル島ガ獨逸領ニナツタノデ、ソレガタメニ隨意ニ此椰
子ヲ輸入スルコトガ面倒ニナツテ困難ヲ致ス、ソレガタメニ是ハ免稅ニナラヌ
ケレバ即チ石鹼製造ノ障害ヲ爲シテ製造事業ニ妨ニナルト云フノデ、免稅ノ
デアソマシタ七千三百圓、ソレダケガ即チ免稅ニナツテ減ズルコトニナリマ
ス、ソレカラ此第二種ノ「五一四ノ次ニ五一四ノ一鐵礦ヲ加フ」是ハ重ニ支那
ノ張之洞管内ニ在ル所ノ例ノ太治鑛山、漢口ニ在ルノデアリマス、ソレヲ政府

而シテ此鑛山所有主ト云フモノハソンナニ餘計ナモノハナイ、人數ハ僅カ二十名シカナイ、普ク其コトハ鑛山所有主ガ承知シテ、サウシテ右ノ標準ニ依ツテ是モ即チ製鐵所デ専ラ購入スル、製鐵所ハ需要ニ應ズル要求ヲシテ製鐵所ト約束シテ製鐵所ハ決シテ輸入ノ鐵礦ヨリ廉價ニ購入スルト云フヤウナコトハ決シテ致サヌ、相當代價デ購入スルコトニ致スノデアル、ソレデ決シテ鑛山所有主ニソレガタメ迷惑ヲ及スト云フコトノ懸念ハナイヤウニ農商務省ニ於テハ最モ此内地ノ鑛山ノ前途ノ發達ヲ希望スルコトデアルカラ、此鐵礦輸入ガ免稅ニナルト共ニ又其點モ十分ニ注意致サナケレバナラヌニ依ツテ右アタリハ決シテ懸念ノナイヤウニ農商務省アタリデハ注意ヲシテ居ルト云フコトデアリマス、段々細カイ質問モゴザイマシテ内地ノ鐵礦ノ出ル所及噸數又前途ノ見込ト云フヤウナコトニ附イテモ細カナ答モゴザイマシタケレドモ、ソレ等ハ別ニ報告ヲ致ス程ノ必要モナイト思ヒマス、右様ノ譯デゴザイマシテ委員會ニ於テハ満場一致ヲ以テ可決スベキモノナリト議決致シタノデゴザイマス、最早會期モ餘日無ク相成リマシタ今日デアリマスカラ斯ノ如キ簡単ナル法案デゴザイマス故ニ何卒讀會ヲ省略セラレテ速ニ議決アランコトヲ希望致シマス

○中西光三郎君

讀會省略ニ贊成

〔「讀會省略ニ贊成」ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤麿君) 読會省略ノ動議ニ十名以上ノ賛成ガアッタト認メマス、之ニ同意ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤麿君) 三分ノ二以上ト認メマス、次ニ別ニ御異議ガナクバ原案ニ決シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

〔子爵谷干城君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵近衛篤麿君) チヨット御待チ下サイ、畜牛結核病豫防法案ヲ本院ヨリ衆議院ノ方へ回シマシタ所ガ、衆議院ヨリ修正ヲシテ回付ニナリマシタ、之ニ同意ヲ表スルヤ否ヤト云フコトヲ極メマセヌト、會期切迫デアリマスルカラ、又協議會ヲ開カナケレバナラヌヤウナ場合ガアリマス、早ク決スル必要ガアラウト思ヒマス、此際ニ之ヲ議シタイト思ヒマスガ如何デス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤麿君) 衆議院ノ修正ト申スノハ他デハナイデス、第一條ノ「乳用牛」ト云フ所ニ貴族院デ「外國種牛雜種牛」トアリマシタノヲ削ツテ元ノ原案ノ通「種牡牛」ト云フコトニシタノデアリマス

〔「政府委員藤田四郎君演壇ニ登ル」〕

○政府委員(藤田四郎君) 唯今議題ニナリマシタル衆議院カラ回付ニナリマシタ畜牛結核病豫防法ノ第二條ノ所ガ、政府案ニ改マリマシタコトニ附キマシテハ第二條ノ文字ヲ改正セラレマシテ第一條ノ文字ノ通改メラレマシタノデゴザイマスガ是ハ、委員會ニ於キマシテ主意ヲ改メルト云フ考ヘデハナカツタノデ、意味ヲ能ク分ルヤウニト云フコトヲ委員長カラ御報告ニ相成リマシテゴザンスガ、丁度第一條ノ意味モ第二條ノ意味モ意味ニ違ヒハナイノデゴザイマス、其時ニ政府委員ガ申上グマスノヲ間違ヘタノデゴザイマス、後ニ至ツテ過ヲ見出シマシタノデゴザイマス、詰リ第一條ノ方ニ雜種牛ト云フモノガ這入ツテ居リマス、是ハ一般ノ原則ニナッテ居リマスルノデ第二條ノ方ノ「ツベルクリン」ノ検査ヲスル方ハ是レト云フ意味合ヲ以テ載ツテ居リマスルノデ、雜種牛等ハ疑ガアリマスノハ無論「ツルベルクリン」ノ検査ヲ致シマスルモノデ此第二條ノ「ツベルクリン」ノ検査ハ致シマセヌ、ソレガタメニ少クモ二十万圓以上ノ經費ガ違ヒマスル次第デゴザイマシテ、政府ノ當初豫期致シマシタ所ノモノハ第一條ノ「ツベルクリン」ノ検査ヲ致シマスル譯デハアリマセヌ、第二條ノ分ハ「ツベルクリン」ノ検査ヲ致シマスヤウニナッテ居リマス、ソレヲ少シ誤解致シマシテ、當時委員會ニ於テモ詳細ノ御尋ガアリマシタ其時、政府委員カラ一條二條ハ同ジ意味デアルト申上グマシタメニ誤解ニ陥リマシタ次第デ、御忙ヲ致スヨリ外仕方ガゴザイマセヌ、左様御承知ヲ……

○子爵谷干城君 此際ニ議事日程ヲ變更セラレテ……

○議長(公爵近衛篤麿君) 今マダ議事中デアリマス

○公爵二條基弘君 唯今政府委員カラ第一條第二條ノ牛ノ種類ト云フモノニ附イテノ説明ハ政府委員ガ誤ツタト云フコトデアリマシテ私モ了解致シマシタ、今ノヤウナ説デアレバ別段私モ異議ハゴザイマセヌデ、矢張衆議院カラ回付案通牡牛若クハ種牡牛此ニツニナッテ差支ナイト考ヘマス、一應申上ゲマス

○高木兼寛君 本案ハ衆議院ノ修正通ニナリマシテモ實際上差支ナカラウト

思ヒマス

○議長（公爵近衛篤麿君） ソレデハ衆議院ノ回付案通同意ヲスルト云フコトニ議決シテ宜シウゴザイマスカ

○議長（公爵近衛篤麿君） ソレデハ其通ニ決シマス

○子爵谷干城君 此際ニ昨日來付託ニナリマシタ又今日付託ニナリマシタ豫算追加案ノ報告ヲ致シタイト存ジマス、宜シウゴザイマスカ

○議長（公爵近衛篤麿君） 御異議ガナクバ其通ニ致シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○子爵谷干城君 ソレナラ是デ報告ヲ致シマス、明治三十四年度歲入歲出總豫算追加案是ハ一號ニナルベキ筈デゴザイマスガ號ガ落チテ居リマス、是ハ先刻來喧マシウゴザイマシタ即チ此北海道ノ經費ノコトガ重モナル部分デゴザイマス、ソレカラ文部省ノ實業教育補助費、ソレカラ遞信省ノ航路擴張費、之ヲ審査ヲ遂ゲマシタガ、モウ衆議院送付ノ通デ宜シカラウト委員會デハ決シマシテゴザイマス、ソレカラ一切束子テ御報告致シマス、此次ニハ今ノ案ニ附隨シテ居リマス所ノ豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ要スルモノ、斯ウ云フ題デゴザイマス、是ハ其矢張北海道ノ航路補助或ハ遞信省ノ京釜鐵道ノ利子ヲ補助スルト云フ事等ガ此中ニ含ンデ居リマス、デ孰モ異議ナク豫算委員會デハ決シマシテゴザイマスカラ、ドウゾ此通御認ヲ願ヒタイト存ジマス、ソレカラ一ツ此案ニ附キマシテ最後ノ第一號ノ所ニ於キマシテ「豫算」ト云フ所ノ第一條、之ニ誤植ガアリマス、是ハ「歲入追加額ヲ百萬圓」トゴザイマスル、是ハ削ランナラヌノヲ誤ツテ是ヘ入レマシタカラ、其御含ヲ願ヒマス、此處ニハ多少ノ質問ヤ何カモゴザイマシタケレドモ、委員會ニ於キマシテハ異議ナク議決シマシタカラ、ドウゾ其御含ニテ御決シラ願ヒタイト存ジマス、ソレカラ其次ハ第二號、明治三十四年度歲入歲出總豫算追加案、是ハ清國事件費、或ハ賞勳年金、軍人ノ恩給等ノヤウナモノガ此中ニ這入テ居リマス、最モ樞要ナモノト認メマシテゴザイマス、是モ衆議院修正送付ノ通決シテ然ルベキト協議ヲ致シマシタ、ソレカラ追第二號、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スラ要スルモノ、是モ矢張前ニ申シマシタ清國事件ニ關聯シマシテ政府ハ借入金ヲ致シマス其利子ノ契約ヲ結ブコトヲ得ルト云フノ案デゴザイマス、是モ少モ異議ナク決シマシテゴザイマス、ソレカラ其次ニ追第四

號、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スラ要スルモノ、是ハ農商務省ノ分デゴザイマス、是ハ九州ノ製鐵所、之ニ傭ヒマスル所ノ外國技師、其年限、或ハ金額、其外鐵ヲ作ル礦石ヲ運搬スル費用、ソレカラ石炭ヲ運搬スル入費等ニ附イテ當業者、即チ鐵道會社トカ又ハ船ト云フヤウナモノニ約束ヲシナケレバナラス、其年期ヲ極メテ約束ヲスルノデアリマス、是モ少シ衆議院年限ノ修正ガゴザイマスルガ、修正通異議ナク委員會ニ於テハ決シマシテゴザイマスルカラ、ドウゾ一括シテ御決シニナルコトヲ希望致シマス

○議長（公爵近衛篤麿君） 明治三十四年度歲入歲出總豫算追加、其外四件、御異議ガナクバ原案ニ決シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○侯爵黒田長成君 此際議事日程ヲ變更シテ瀆職法案ノ會議ヲ開カレンコトヲ希望致シマス、實ハ明日報告ヲ致サウカト存ジテ居リマシタガ、會期切迫ノ際デゴザイマスカラ唯今日程ヲ變更センコトヲ希望致シマス

〔「賛成」ト呼フ者多シ〕

○議長（公爵近衛篤麿君） 黒田侯爵ノ動議ニ御異議ガナクバ其議ニ移リマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵近衛篤麿君） 瀆職法案、衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長ノ報告

瀆職法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治三十四年三月二十三日

右特別委員長

侯爵 黑田 長成

貴族院議長公爵近衛篤麿殿

〔侯爵黒田長成君演壇ニ登ル〕

○侯爵黒田長成君 瀆職法案ノ委員會ノ結果ヲ御報告致シマス、我ミ特別委員ハ先刻此法案ノ審査ニ取掛リマシテ政府委員ト屢々應答モアリマシテ、委員ベキト協議ヲ致シマシタ、ソレカラ追第二號、豫算外國庫ノ負擔トナルベキニ於テハ全會一致ヲ以テ可決スベキモノト認メマシテゴザイマス、申スマデモナイコトデアリマスガ、現今社會ノ情態ニ鑑ミマシテ此法案ガ必要デアルモナイコトデアリマスガ、是モ矢張前ニ申シマシタ清國事件ニ關聯シマシテ政府ハ借入金ヲ致シマス其利子ノ契約ヲ結ブコトヲ得ルト云フノ案デゴザイマス、是モ少モ異議ナク決シマシテゴザイマス、ソレカラ其次ニ追第四

改正モ最早餘日ガナイノデムヅカシイコトト思ヒマスカラ、尙更此法案ヲ決議ニナルコトガ必要ト思ヒマス、現行刑法ニ比ベマスト、唯第一條ニ於テ「要求」ト云フコトト、第一條ノ第二項ガ新ニ加ルダケノコトデ、官吏、公吏ノ規定ニ比シテ唯ソレダケノ違ガアルノデゴザイマス、是ハ今日ノ情勢、議員其他法令ニ因ツテ選舉又ハ任用サレタル者ニ對シテ必要ナル規定ト考ヘルノデアリマス、ドウカ本案ヲ可決セラレンコトヲ希望致シマス、甚ダ簡単ナ案デゴザイマスカラ讀會省略ヲ要求致シマス

○子爵錦織教久君 贊成
○中西光三郎君 贊成
〔其他〕贊成「ト呼フ者多シ」
○議長（公爵近衛篤麿君） 読會省略ノ動議ニハ 贊成十名以上アリト認メマス、之ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 多數
○議長（公爵近衛篤麿君） 三分ノ二以上ト認メマス……御異議ガナクバ原案確定ト認メマス

○議長（公爵近衛篤麿君） 三分ノ二以上ト認メマス……御異議ガナクバ原案確定ト認メマス
○議長（公爵近衛篤麿君） 三分ノ二以上ト認メマス……御異議ガナクバ原案確定ト認メマス
○議長（公爵近衛篤麿君） 府縣制中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告、是ハ併セテ第十八マデヲ問題ニ供シマス
府縣制中改正法律案

右否決スヘモノナリト議決ス依テ及報告候也
明治三十四年三月二十二日
右特別委員長
子爵 長岡 譲美

貴族院議長公爵近衛篤麿殿

市制中改正法律案

町村制中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十四年三月二十二日

右特別委員長

〔子爵長岡護美君演壇ニ登ル〕
貴族院議長公爵近衛篤麿殿

○子爵長岡護美君 此府縣制郡制ノ改正案ト又市制町村制ノ改正案ハ提出ノ趣旨ハ變ツテ居リマスガ、併ナガラ此改正ノ案デアリマスカラ一括シテ御報告ヲ致スノデアリマス、併ナガラ委員會デハ此府縣制ト郡制ノ改正ノ方ハ別ニ引分ケマシテ、サウシテ調査ヲ致シタ次第デアリマス、其譯ハ全ク其提出ノ理由ガ變ツテ居ルノデアリマス、先づ此御報告ヲ申スニモ、先づ此府縣制ト郡制ノ改正ノ方カラ一ツ理由ヲ諸君ニ御報告致シマセウト考ヘルノデアリマス、此案ハ四ツノ案デアリマスガ、事柄ハサウ澤山ノ修正デハナインデアリマス、此府縣制ノ方ハ第五條デ議員ノ數ヲ増スコトニ修正ヲ致シテアルノガ多クナツテ居リマスルカラ、ドウカ此數ハ多ク増シタ方ガ議事ノ都合モ宜被選舉權ト選舉權ヲ有スルモノノ資格ヲ一樣ナラシメテ少シク被選舉權ノ方ガカラウ、斯ウ云フコトデ増シタ次第デアルノデアリマス、第六條ノ方ハ即チ被選舉權ト選舉權ヲ有スルモノノ資格ヲ一樣ナラシメテ少シク被選舉權ノ方ヲ劣等ニシテアルノデアリマス、其他此六十九條、此ハ甚ダ不文ナ案デアリマスルガ此趣意ハ工事等ノ實況ノ調査ヲスルコトガ今ノ儘ノ案デハ出來マセヌノデ其便ヲ圖ラウト云フ案デアルノデアリマス、ソレカラ此豫備費ノ支出ト云フコトガ是モドウカ府縣參事會ノ議決ヲ經タイ權限ヲ擴メルコトニ附イテノ議案デアルノデアリマス、併ナガラ此議案ハ全ク不同意デアルノデアリマス、デ成ル程此案ノ中ニ隨分六十九條ノ第二項ノ次ニ一項ヲ加ヘル如キコトハ是ハ衆議院ノ方ニモ隨分理窟ノアルコトダラウト考ヘマスガ、併ナガラ又弊モ隨分アルヤウニ内閣員ハ說カレルノデアリマス、デ今日議員ノ數ヲ増スト云フコトハ實際我ミ共委員ニ於テハサウ必要デアルマイカト考ヘルノデアリマス、如何トナレバ現行法ガ實施サレテカラ日モ淺ウゴザイマスカラ、是等ハ經驗ノ上ニモ經驗ヲ加ヘ、而シテ念ヲ入レテ改正ヲスベキコトデアラウトニナレバ、是レ亦劣等ナ議員ヲ出スヤウナ虞モアラウト考ヘルノデアリマス、此末ノ二條ハ是ハ隨分議論モ尤ノヤウニ考ヘマスシ、變ツテモ強テ害モアリマスマイガ、併ナガラ此際是非トモ改正スルノ必要ハナイト考ヘマスノデ、此府縣制ト郡制ハ否決致シタ次第デアルノデアリマス、殊ニ此第五條第

六條ノ改正ノ如キハ三十六年ノ七月一日ヨリ施行スルコトニナツテ居リマスカラ、今日是非此事ノ議決ヲ定メテ置クト云フ必要モ私ハナイコトデアラウ

ト考ヘルノデアリマス、ソレカラ此市制ト町村制ノ方ノ提出ノ理由ハ全ク趣ヲ異ニシテ居ルノデアリマス、此方ハ「第十四條末項ノ次ニ左ノ四項ヲ加フ」トアリ

マシテ現在此東京市京都市大阪市ト云フモノハ府デ廣潤ナル區域ニナツテ居

リマスシ、人口モ稠密ニアルノデアリマスデ、何分選舉ノ投票ヲスルトキニ混

雜ヲ來シ又段々其投票者モ有權者ガ多クナツテ參ルノデアリマスカラ、如何ニ

モ實際不便ヲ感ズルノデアリマス、是ハモウ唯便利ヲ圖ルタメノ事柄デアリ

マシテ、而シテ斯ウナル方ガ全ク宜カラウト考ヘルノハ却テ此名古屋市神戸

市ノ如キハ之ヲ市條例デ定メルコトガ出來ルノデアリマス、然ルニ奈何セン

此東京市、京都市、大阪市ノ如キハ區ト云フコトデ限ツテアリマスカラドウ

モ斯ウ云フ便ヲ圖ルコトガ出來ヌノデアリマスカラドウ

來スヤウナコトニナルノデアリマス、是ハ至極尤ナコトデアリマスシ、殊ニ

選舉等色ゝノコトニ是ハ能ク注意ヲ立テルタメノコトデアリマスカラ、一々

之ニ附イテハ御報告イタシマセヌデゴザイマス、ソレカラ先ノ十八條以下ノ

所ハ是ハ全ク單記法ニスルト云フ譯デアリマス、段々内閣員カラノ辯明モア

リマスシ又衆議院ノ速記録等ヲ見マスト理由モアルヤウニ見エマスガ、我ヨ

委員ニ於テハ先づ今日ノ法律上カラ見マシテ此府縣會モ郡會モ固ヨリ衆議

院ノ方モ皆此單記法デ今日選舉ヲスルコトニナツテ居リマスカラ、是ハ是非

トモ單記ニナル法ガ都合ガ宜カラウト云フコトデ、此二案ハ可決シタ次第デ

アリマス、此第二十二條ニ此處ニ少シ取除ケヲ設ケマシタノハ關西地方ニハ

餘リアリマスマイガ、東北ノ地方ナド貧富ノ差ノ劇シイ所ニナリマスト實際

單記ノ方ニナルト、定數ニ選舉サレル所ノ人員ガ充タヌヤウナ所ガ出來ルノ

デアリマスカラ已ムヲ得ズスウ云フコトノ取除ケヲ少シ之ニ加ヘタノデアリ

マシテ、是レ亦已ムヲ得ザル次第ト考ヘルノデアリマス、其他ノ改正ハ一々

申上グル程ノコトモゴザイマセヌ、明瞭ナコトデアルト考ヘマスデ、本員ハ

是ダケノ御報告ヲ致シテ置キマス、ドウカ此決ヲ採ラル、ニハ此府縣制ト郡

制ヲ一括シテ決ヲ採ラレ又此市制ト町村制ト之ヲ一括ナサレテ、ドウゾ二様ニ決ヲ御採リヲ願ヒタイノデアリマス

○議長（公爵近衛篤麿君）府縣制中改正法律案、郡制中改正法律案、此兩案ヲ合セテ採決致シマス、本案ヲ二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマ

ス

起立者 少數

○議長（公爵近衛篤麿君）少數ト認メマス、市制中改正法律案、町村制中改正法律案、二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長（公爵近衛篤麿君）少數ト認メマス

○子爵谷干城君 チヨット此際一言申上ゲタイト思ヒマス、此本日議事日程ニ上ツテ居リマスル私ガ上奏案デアリマスルガ、大分修正ヲ致シタ所モゴザイマスルシ致シマスルカラ、ドウゾ本日ハ御延シニナリマシテ明日ノ議事日程ニ上サレンコトヲ希望致シマス

○議長（公爵近衛篤麿君）御異議ガナクバ其通致ンマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵近衛篤麿君）民法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

民法中改正法律案

右可決スヘモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十四年三月二十二日

右特別委員長

子爵 唐橋 在正

貴族院議長公爵近衛篤麿殿

〔子爵唐橋在正君演壇ニ登ル〕

○子爵唐橋在正君 民法中改正法律案委員會ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、本案ハ過日衆議院ノ提出ニ係ル法律案デアリマス、民法第三百七十四條ニ

此一項ヲ加ヘルノハチヨット見マスルトスウ云フ規定ヲ別段ニ設ケナクテ宜シヤウニ見エマスルケレドモ、現ニイツデアリマシタカ大審院デ反對ノ判

決例ガアツタサウデゴザイマス、ソレカラシテ此解釋的ノヤウナ條項ヲ設ケタ

方ガ宜カラウト云フ話デアリマス、別ニ民法ヲ改正スルトカ云フコトデハナ

クシテ多少疑ノアル所ヲ一層明瞭ニシヤウト云フ主意ニ外ナラヌノデアリマ

ス、政府委員ニ於キマシテモ異議ナク又委員會デモ全會一致ヲ以チマシテ議

決致シタノデゴザイマス、此段御報告ヲ致シマス、尙ホ御質問等モゴザイマ

ヲ願ヒマス、唯今申シヤシタヤウニ誠ニ簡單ナ法律案デゴザイマスルカラ何卒讀會ヲ省略サレマシテ直ニ議決セラレンコトヲ希望致シマス

○男爵西五辻文仲君 読會省略ニ贊成

〔「贊成」ト呼フ者多シ〕

○議長（公爵近衛篤麿君） 読會省略ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長（公爵近衛篤麿君） 三分ノ二以上ト認メマス、御異議ガナケレバ本案可決ト認メマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵近衛篤麿君）

社寺上地林處分法案、衆議院提出、第一讀會

右本院提出案及送付候也

明治三十四年三月二十日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤麿殿

國有林野中社寺ノ上地ニシテ不要存置ニ屬スル森林ノ拂下ハ時價ノ半額ヲ以テ其ノ社寺ニ賣拂フコトヲ得

附 則

本法ハ明治三十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○議長（公爵近衛篤麿君） 此特別委員ハ議長指名デ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵近衛篤麿君） ソレデハ其通取計ラヒマス、即チ御委託ニナリマシタ委員ノ氏名ヲ直ニ御報告致シマス

〔太田書記官長朗讀〕

社寺上地林處分法案特別委員

伯爵萬里小路通房君 子爵入江 爲守君 子爵永井 尚敏君

男爵楫取 素彦君 男爵藤村 紫朗君 男爵川崎 祐名君

男爵新田 忠純君 森山 茂君 松木彦右衛門君

〔男爵松平正直君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長（公爵近衛篤麿君） 松平男爵ハ何デスカ

○男爵松平正直君 警察並監獄ノ職務執行ニ關スル質問書ヲ過日政府へ提出

致シテ置キマシタガ、未ダ其答ガゴザイマセヌガ最早會期モ切迫ノコトデアリマスカラドウゾ御督促ヲ願ヒタイ、此段ヲ……

○議長（公爵近衛篤麿君） 承知致シマシタ、本月二十五日本院ニ於テ閉院式ヲ行ハルルト云フ通牒ガゴザイマシタカラ之ヲ御報告致シマス

〔太田書記官長朗讀〕

○議長（公爵近衛篤麿君） 明日ノ議事日程ハ追テ御報告致シマス、今日ハ散

貴族院議長公爵近衛篤麿殿

明治三十四年三月二十三日 内閣總理大臣侯爵伊藤博文

○議長（公爵近衛篤麿君） 明日ノ議事日程ハ追テ御報告致シマス、今日ハ散

會

午後三時四十五分散會